

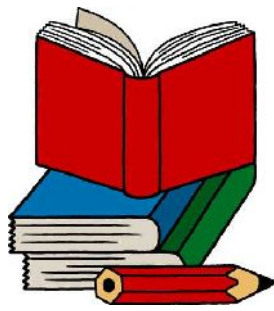
2015年度文化庁委託  
「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

「使える」日本語を学ぶ！

# 活動事例集2015



公益財団法人 愛知県国際交流協会



愛知県は、全国でも3番目に外国人住民が多い県です(2015年12月末現在)。しかも、永住者、特別永住者、定住者、日本人の配偶者等といった、日本に長く住むと考えられる住民が多く、さらにその子どもや帰化された方など、日本国籍を持ってはいるけれど、ルーツは外国にあるという方も増えています。そして、今後も様々な背景をもつ外国人住民が増えていくことが予想されています。

そうした方たちが日本で安心して暮らしていくためには様々な支援が必要ですが、中でも「ことば」の問題は重要です。この地域でも100以上のボランティアによる日本語教室が開催され、多くの外国人住民が学んでいます。地域の日本語教室で外国人住民が日本語を学ぶ目的は、「自立し、安心して日本で暮らすことができるようになること」。そのために、日本語で「伝えることができた!」「理解することができた!」「やることができた!」など「できた!」瞬間をたくさんつくっていく手助けをすることが、日本語教室の役割なのかもしれません。外国人住民が暮らしやすい地域は、日本人にとっても暮らしやすい地域。地域の日本語教室の活動は、学習者の日本語スキルを伸ばすだけでなく、みんなにとって暮らしやすい地域を創る地域づくりの一環ともいえるのです。

地域の中で日本語教室が担っている役割がとても重要である現状を踏まえ、当協会では、教室活動をよりスキルアップするための「行動・体験型プログラム研修」を実施しています。本書は、その研修の中で、参加者が実践した「行動・体験型日本語教室活動」の内容を実践者自身がまとめたものです。日本語教室活動にこれぞという方法やプログラムがあるわけではありませんが、この「行動・体験型日本語教室活動」は、教室という閉じられた空間だけでなく、地域を巻き込んだ活動です。「行動・体験型」を実践することで、学習者にとってもボランティアにとっても教室にとっても地域にとっても世界がひろがるのでは、と期待しています。

日本語教育を実践されている方や関心がある方など多くの方が、本書を片手に「行動・体験型教室活動」を実践していただければ、とてもうれしく思います。

平成28年3月



はじめに

本書のつかいかた

行動・体験型プログラム研修を実施

**第 1 章 行動・体験型教室活動！？**

「使える」日本語とは？	2
「行動・体験型教室活動」のポイント	3
よくある疑問にお答えします	4

**第 2 章 実践してみました**

1. 目的地に行こう	6
2. 自転車のルールを知ろう	10
3. 買い物に行きましょう	14
4. 買いものをしよう	18
5. チラシを見て買い物をしよう	22
6. 日本の銀行の A T M をうまく使おう	28
7. ハローワークへ行ってみよう	32
8. 病気になったらどうしますか	36
9. 地震時の緊急対応	40
10. 地震について知ろう	44
11. 災害時に支援者になろう	48
★実践教室一覧	54

**第 3 章 活動案とポスター**

1. 目的地に行こう	56
2. 自転車のルールを知ろう	58
3. 買い物に行きましょう	60
4. 買いものをしよう	62
5. チラシを見て買い物をしよう	64
6. 日本の銀行の A T M をうまく使おう	66
7. ハローワークへ行ってみよう	68
8. 病気になったらどうしますか	70
9. 地震時の緊急対応	72
10. 地震について知ろう	74
11. 災害時に支援者になろう	76

## 第1章 行動・体験型教室活動！？

「行動・体験型日本語教室活動」の概要、ポイントについて説明しています。  
学習者の状況やニーズや日本語レベルなどにあわせて、テキストによる学習などとも組み合わせながら、教室活動の流れを考えてみましょう。

## 第2章 実践してみました

11の活動事例をご紹介します。1つの事例は、4～6ページにまとまっています。  
うまくいったこともしなかったことも、実際に行ったとおりに掲載しています。  
とりあえず掲載してあるとおりにやってみるのもいいですし、「いやいやここはもっとこうの方が…」とアレンジするのも、あるいは事例を参考に他のテーマに挑戦してみるのもいいでしょう。  
第3章の活動案や文化庁作成の「標準的なカリキュラム案」も参考にしてみてください。

**テーマ**

**プログラムを実践した教室の概要**

**プログラムの参加者**

学習者の状況や声を踏まえて目標を設定した上、プログラムのテーマを決定しました。

実践活動を実施する前に作成した初期の段階の活動案と、実践活動をまとめたポスターです。

プログラムの流れです。実際に作成された活動案(第3章)を基に、わかりやすく編集しました。

文化庁作成の『生活者としての外国人』に対する標準的なカリキュラム案』とその『教材例集』の関連するページです。

活動の中で使う教材やワークシートの作成など以外に、活動前に準備したことを挙げています。

活動の「ふりかえり」です。ボランティアによるこのプログラム全体のふりかえりと区別するために「確認」ということばを使っています。活動をふりかえり、そこで出てきた日本語を確認する時間です。

**9 地震時の緊急対応**

教室開催日：土曜日午後2時から  
学習者：パキスタン・バングラデシュ・インドネシア・カザフスタン・中国・ミャンマー・ブラジル・インドなど。  
レベル：リバイバルから上級まで

学習者：12人(パキスタン・バングラデシュ・インドネシア・カザフスタン・中国・ミャンマー・ブラジル・インド)  
ボランティア：9人

**学習者の状況**

- 学習者は愛知県内の様々な地域から来ている
- 仕事で来日の人・日本人と結婚して来日し、家族で住む人等々

**学習者の声**

地震に遭ったことがないので、怖い

**目標**

防災用品の必要性を知り、地震があったとき、自分の身を守れるようになる

**活動の流れ**

→ 活動案P.72 ボランティアP.73

1日目：9月26日(土) 14:15～15:30 (75分)		
活動1	15分	地震について知る
活動2	15分	地震が来たときの避難の体験をする
確認1	45分	第1回の活動をふりかえる
2日目：10月31日(土) 14:15～15:30 (75分)		
活動3	15分	なぜ防災用品が必要かを学ぶ
活動4	30分	防災用品を学ぶ
確認2	45分	2回の活動をふりかえり、防災の大切さに気づく

事前の準備・下調べ

- 地震に関する言葉を調べる
- 防災用品・非常食を準備する

カリキュラム案 P.22～25  
教材例集 P.55～71

40

### 第3章 活動案とポスター

第2章の活動を実践する前に作成した「活動案」と、実践後成果発表のプレゼンテーションをするときに作成した「ポスター」をご紹介します。最初に作成した活動案を基に、研修の中でいろいろ練りこんで実践しているので、第2章の内容とは変わっている部分もあります。第2章と比較して見ていただくと、よりわかりやすいと思います。



学習者からこんな日本語ができました

活動の中で、学習者から発せられた日本語を拾いました。



こんなことばを覚えました

テーマに関連してボランティアや協力者が準備しておいた語彙等



こんな日本語を伝えました

活動の中で、ボランティアや外部協力者が発した日本語を挙げました。



ここがポイント!  
こんなこともできる!

活動のふりかえりで、プログラム研修の講師や参加者から出されたコメント

**実践活動**

**活動1 地震について知る**

1. 地震とはどういうものか、説明を聞きました。  
2. 早期行動について説明を聞きました。

**活動2 地震が来たときの避難の体験をする**

地震が来たときの身の守り方と建物の安全な場所への避難を体験しました。

**学習者からこんな日本語ができました**

- ☆ 日本で初めて地震を体験してビックリした。
- ☆ 良かった。勉強になった。

**こんな日本語を伝えました**

- ★ 揺れがおさまるまでは、机の下などで、頭と身体を守り、揺れがおさまったら、安全な場所へ避難しましょう。

**学習者からこんな日本語ができました**

- ☆ 大丈夫です。

**こんなこともできる!**

実際に体を使って行動・体験することで、地震への心構えができます。乗り物に乗っているときや別の場所ではどうすればいいかを話しあうのもいいですね。

41

プログラムの詳細です。

活動中、学習者、ボランティアや地域の方たちから発せられた日本語が挙げてあります。実はここが重要! 地域の中で実際に使われている日本語を学びましょう。

**確認2**

2回の活動をふりかえり、防災の大切さに気づく

2回の活動をふりかえって、どんなことがわかったか、どんなことを思ったか、話し合いました。

**学習者からこんな日本語ができました**

- ☆ 日本では地震が多い事を知り、水と食料品を用意したい。
- ☆ 避難用品 (ビニールシート・イロ) を知った。
- ☆ 高層マンションに住んでいるから、ロープが必要だとわかった。

**実践を振り返って～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～**

- ◇ 日本は地震が多いことを学習者が理解でき、地震の時にはどの様に自分の身を守るかを学んだ。
- ◇ 大地震では、ライフラインも失われる為、防災用品の準備と必要性に学習者が気づいてくれた。
- ◇ 実践活動は、日本を知り、日本に親しむきっかけにはなると思うが、日本語の勉強に効果があるか? (ボランティアの準備に掛ける時間等の負担に比べて)
- ◇ 今回は実践活動の手順や内容について初めてのことで、このように難しく学んだが、次回からはあまり書類にこだわらないで、もっとシンプルに行いたい。
- ◇ 防災ボランティアを活用すると、もっと楽に実践したものになると気づいた。
- ◇ 避難教室はイベント性があるから、学習者とボランティアが打ち解けあえる。

**大切だと思ったこと**

- 発表を想定して、行動実践講座のテーマを選択・決定する。
- 実践を始める前には、ボランティアは十分な準備をする時間が必要。

43

プログラムを実践して、ボランティアが大切だと思ったポイントです。

プログラムを実施したボランティア自身のふりかえりです。活動の中のふりかえりとは区別しましょう。

## 行動・体験型プログラム研修を実施

愛知県国際交流協会では、2014年度に引き続き2015年度も行動・体験型プログラム研修「行動・体験型の教室活動をつくる」を実施しました。この研修には、7教室から31人のボランティアが参加し、8回にわたる講義やワークショップを通して、「行動・体験型」の活動案を作成し、実践しました。

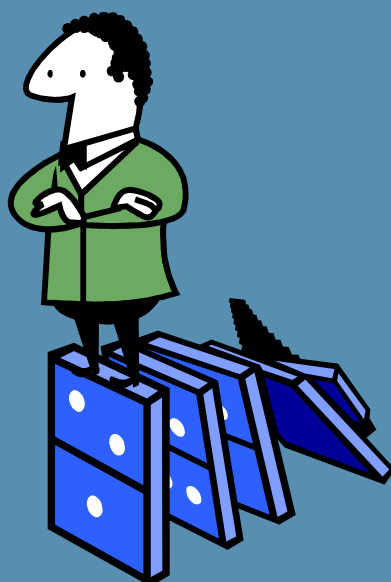
「行動・体験型教室活動」とはどんな活動なのかを理解し体感したことももちろん大切ですが、この研修を通して、普段あまりコミュニケーションがとれていなかった同じ教室のボランティア同士じっくり話をしたり、あるいは他の教室のノウハウを聞いたり、そして何よりも普段の自分自身の活動をふりかえるきっかけになったことが、今後のよりステップアップした活動につながっていくのではないかと考えています。

回	日程	内 容	
1	6/20 (土)	オリエンテーション 「標準的なカリキュラム案」とは?	文化庁の「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案等について概要を知り、その「考え方」と「行動・体験中心の活動」とは何かを理解する。また、活動の効果をどう評価するか考える。
2	6/27 (土)	活動のつくり方1 学習者に役立つ活動テーマとは?	「行動・体験型」の活動テーマの選び方を確認し、テーマからどのような手順を経て活動をつくるかについて理解する。
3	7/4 (土)	活動のつくり方2 活動案をつくらう!	1つのテーマの活動をどの程度の時間をかけて行うのかを考え、その具体的な流れと素材・教材について理解を深める。
4	7/18 (土)	活動のつくり方3 実践に向けて	それぞれの活動現場の条件などを確認し、実践に向けた活動案を考える。
	7~8月	モデル教室参加	2014年度に実施された行動・体験型教室活動のモデル教室に参加し、実践に向けてさらに理解を深める。 <テーマ> ○ チラシを使って買い物しよう ○ 図書館を利用しよう
5	9/5 (土)	実践活動計画を立てる!	モデル教室をふりかえり、それぞれの教室で実施可能な活動計画を立て、手順や準備する素材・教材について考える。
6	9/19 (土)	実践活動計画を共有しよう	各自が作成した実践活動計画、素材・教材を共有し、活動の内容をさらに検討する。
	9~10月	実践活動の実施と見学	活動計画を基に、それぞれの教室で活動を実践するとともに、他の教室の実践活動を見学する。
7	10/31 (土)	実践活動のふりかえり	実践活動をふりかえり、行動体験型の活動の意義と方法を再認識する。
8	11/7 (土)	実践活動の発表 ふりかえり	ポスターセッションによる発表を通して実践活動を共有するとともに、さらによりよい活動を目指すアイデアや改善点などを出し合う。



## 第 1 章

# 行動・体験型教室活動！？



## ● 何のために日本語を学ぶのだろう？

今、愛知県には20万3,698人の外国人が暮らしています(2015年6月末現在)。最近は、日本に帰化する外国人も増えているので、「外国につながる住民」はそれ以上の数の方がいると考えられます。国籍も年齢も来日目的も日本での状況も様々な外国人住民が年々増えているのです。そして、そうした方たちが、現在、愛知県内に100以上あるボランティアによる日本語教室で日本語を学んでいます。

では、その方たちは何のために日本語を学んでいるのでしょうか？日本語を学ぶ目的も様々ですが、少なくとも「知識・教養」のためだけに学んでいるわけではないでしょう。文化庁のこぼれを借りるなら、

**「言語・文化の相互尊重を前提としながら、日本語で意思疎通を図り生活できるようになること」**

が目的であり、

- 日本語を使って、健康かつ安全に生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、自立した生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、文化的な生活を送ることができるようにすること

が目標なのです。

もしかしたら、「いやいや、学習者から『日本語能力試験1級に合格したいから来ている』と言われてい」とおっしゃるボランティアもいるかもしれません。確かに、試験勉強以外はしたくないという学習者もたくさんいます。でも、何のために日本語能力試験1級に合格したいのでしょうか？いい仕事につくため。では、何のためにいい仕事につきたいのでしょうか？…と考えていくと、本人が明確に認識しているかどうかは別として、安心して自分らしい暮らしをしたいから、そのためには日本語を学んだほうがいいから、仕事が終わった後、あるいは休みの日に日本語教室に通っているのではないのでしょうか。

「多文化共生のための日本語教室」というと抵抗を感じるボランティアも多いかもしれませんが、国籍を問わずすべての人が安心して暮らせる社会が「多文化共生社会」であるとすると、やはり、地域の日本語教室は、学習者が安心して暮らせることを目指す多文化共生社会の実現を目指した活動なのです。

## ● 「使えなければ」意味がない！

とはいえ、生活上のどんな場面で日本語を使えることが目標につながるのかは、学習者によってそれぞれです。どんな方法でどんな内容を提供したとしても、それが学習者の「安心で自分らしい生活」につながっているのであれば問題ありません。でも少なくとも、日本語教室以外のいろいろな場面で、学んだ日本語を使うことができないとしたら、目的を達成しているとはいえません。

普段の日本語教室活動の中で、「使える」日本語を意識しているでしょうか？

学んだ日本語を学習者が生活の中で使えているかどうか確認しているでしょうか？



## 学習者と一緒に目標を立てよう。

多くの地域日本語教室は、週に1回、90～120分ぐらいでクラスを行っているのではないのでしょうか。それ以外の時間、学習者は仕事をしていたり、子育てをしていたりで忙しく、なかなか日本語の勉強に時間を費やすことができません。そうした中で、効率的に勉強し、自分自身がスキルアップや達成感を感じることができ、モチベーションを維持するために、学習者と一緒に「〇〇できるようになる」という目標をたてましょう。

目標を考えるためのやり取りもコミュニケーションの練習になりますし、目標をたてることによって、日常生活の中で意識的に日本語を聞いたり、使ったりできるようになります。学習者と一緒に考えるのでニーズにも合致しますし、今、何のためにこのことばを学んでいるのか明確になって、「できること」が一つずつ増えていけば、日本語学習が楽しくなるでしょう。



## 地域の方との協働が大切。その時は、活動の趣旨をきちんと伝えよう。

「行動・体験型教室活動」の目的は、学習者が過ごしている普段の日常生活の中で使われている日本語を理解し、使えるようにすることです。そのためには、教室のボランティアだけでなく、地域のいろいろな方たちとのコミュニケーションを図ることが大切です。その時、相手が外国人だからといって、必要以上にゆっくり簡単な日本語を話されても意味がありませんし、あまりにも専門的な難しい話をされても学習者は嫌になってしまいます。

地域の方たちと協働するとき大切なのは、あらかじめ、プログラムの目的や趣旨をきちんと理解していただいた上で、学習者の人数や日本語レベル、目標、プログラム全体の流れなどもお伝えしておくことでしょう。

資料や映像、テーマに関連した書類等、どんなものがあるのかについても打合せをしておいた方がいいと思います。

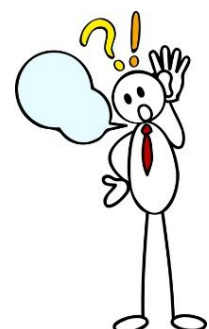


## 行動・体験した後のふりかえり(確認)が重要。そこで日本語が定着する。

「行動・体験型教室活動」はあくまで日本語学習です。行動・体験することや情報を得ることが第1の目的ではありません。

したがって、行動・体験した後のふりかえり(確認)の時間がとても重要です。写真やビデオを撮ったり、出てきた日本語を記録したりしておき、行動・体験しているときにどんなことが起こったか、どんな日本語が使われていたか、後で思い出せるようにしておくといでしょう。

また、ふりかえり(確認)のときは、できるだけ、学習者が発言する機会を増やしましょう。



## ❓ 毎期、最後の授業でいろんなところに見学に行ってます。すでに行動・体験型やってるし。何で今さら？

「行動・体験型教室活動」は単に、何かを体験したり、どこかに行ったり見学したりすることをしようとしているわけではありません。

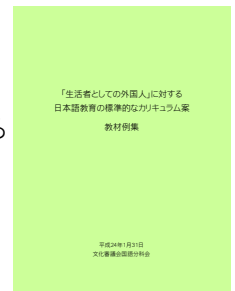
まずは、何を行動し、何を体験するか、理想的なのはそこから学習者と一緒に考えることです。日本語がわからないがためにできなかったことをできるようにしたいわけですから、「どんなことができなくて困っているのか」「どんなことをできるようにになりたいのか」を踏まえてテーマを決めることが大切です。「あたたかくなったから、お城でも見に行こうか」「今学期も最後だし、みんなで美味しい日本料理食べに行こうか」…とは違うのです。

そして、もう一つ大切なことは、行動や体験の中で出てきた日本語をきちんとふりかえって学ぶことです。行動や体験をして「楽しかったね」で終わってしまっただけでは意味がありません。「あの時、お店の人はこんなことを言っていたけれど、あれってどういう意味?」とか「こういうことを伝えたかったんだけど、ちゃんと伝わった?」「あのとき、もしこうしたかったら、どう言えばいいの?」などのふりかえりを学習者と一緒に行うことが実は一番重要なのです。

## ❓ 準備も大変だし、毎回体験型にするのはちょっと…。

もちろん、毎回何かを体験する必要はありません。テキストによる学習などうまく組み合わせて、目的を踏まえた楽しい教室活動を展開するのもいいと思います。大切なのは、日本で生活する上で何かができるようになるための日本語を学ぶということなのです。

また、名称から誤解されてしまいがちですが、「行動・体験型」は必ずしも、どこかへ行ったり、何かを体験しなければいけない活動ではありません。教室活動の中で「ロールプレイ」をされることもあると思いますが、その内容を架空のものではなく、実生活に即したものにすれば、それも「行動・体験型」になります。できれば、普段接しているボランティア以外の地域の方が加わるとより効果的な活動ができますが、その他、新聞に挟み込まれているチラシだったり、町内会で配られる「お知らせ」など普段の生活の中のものを活用することもできますし、文化庁作成の『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 教材例集』も便利です。要は、「This is a pen.」のような日本語ではなく、日本人が普段使う日本語を学びましょう…ということなのです。



## ❓ 上級者ならいいけれど初級者には無理なんじゃないの？

そんなことはありません。初級者も日本で生活しているわけですから、むしろ初級者こそたくさんテーマを選ぶことができるのではないのでしょうか？ もしかしたら、明日、大災害が起こってしまうかもしれません。

行動・体験をするときは、初級者も上級者も一緒に活動できます。ただ、行動・体験したあとのふりかえり（「確認」の時間）は、レベルごとに分かれた方がいいかもしれません。

## ❓ これまでのやり方もあるし、「行動・体験型」を採り入れることについて教室の合意をとるのは難しいなあ

もう一度考えてみましょう。何のための日本語教室でしょうか？ これまでのやり方に固執したり、ボランティアの考え方だけで活動してしまっているのでしょうか？ 学習者にとって一番いいことは何なのかを考える必要は？ また、教室の中で、ボランティア同士コミュニケーションはとれているのでしょうか？

ボランティアの強みのひとつは「多様性」です。いろいろな考え方、いろいろなスキル、いろいろな知識や経験が集まっていることで、一人ではできないことができる…それがボランティアの力！ 時間ぎりに集まって挨拶はするけれど、そのままバラバラのグループで学習者と話し、終わったら挨拶して帰る。他のボランティアがどんな教材を使ってどんな風に教えているのかよくわからない。ボランティアなので仕方ない部分もありますが、いつもいつもそんな感じ…というのはもったいないと思います。

「行動・体験型」が絶対いい!! というわけではありません。教室によっては、別のやりの方が学習者の目的を達成できるかもしれません。これを機会に教室にとって、そして何よりも学習者にとってどんなやり方がいいか、いろいろ話してみてもどうでしょう？

## ♥ もっと理解を深めるために ♥

2015年2月当協会が作成した『「使える」日本語を学ぶ!～行動・体験型の教室活動をつくらう～』では、「標準的なカリキュラム案」や活動をつくるプロセスなどについて詳しく説明しています。あわせてご活用ください。



## 第2章

# 実践してみました



# 1

## 目的地に行こう

教室開催日：毎週木曜日の午前  
 学習者：約50人 国籍は多様  
 レベル：初級者対象 レベル別でグループごとに勉強

学習者：14名（フィリピン、ネパール 各4名、インドネシア2名、  
 アメリカ、スリランカ、タイ、ベトナム 各1名）  
 コーディネーター：3名 ボランティア：6名  
 外部協力者：2名

### 学習者の状況

- 初級の学習者が多い
- 日本語を使う機会が少ない
- 知っている場所しか行けない

### 学習者の声

- 栄の街を歩きたい
- 自然な会話がしたい
- 楽しい活動がしたい

### 目標

道を探ねることができる  
 地図を見ることができる

## 活動の流れ

→ 活動案P.56 ポスターP.57

1日目：10月8日（木）10:20～12:00（100分）		
活動1	85分	目的地に行こう!
確認1	15分	記憶に残そう!
2日目：10月15日（木）10:30～12:00（90分）		
活動2	35分	体験を言葉にしよう!
活動3	45分	体験をみんなに話そう!
確認2	10分	2日間をふりかえって



カリキュラム案  
 について

P.62～65



教材例集 P.144～153

## 事前の準備・下調べ

- 街中を歩いて下見し、学習者が関心を持ちそうで、かつ道を探ねなければたどり着けない目的地を決定。
- 1日目終了後にデジカメの写真データを回収して、スライドショーと写真のダイジェスト版を作成。

活動 1

目的地に行こう！

1. 教室を飛び出し、街に出かけました。
2. タウンマップを使って、今いる場所と目的地を確認しました。
3. 通行人や店員さんなどに積極的に話しかけ、道を尋ねました。
4. 各自興味のあるものを見つけ、質問をしたり、写真を撮ったりしました。



用意したもの

タウンマップ  
目的地を示した指示書  
デジタルカメラ  
スタッフ用指示書

確認 1

記憶に残そう！

1. 今日どんなことをしたか、ふりかえって話しました。
2. 「どこへ行ったか」「何をしたか」「何を話したか」「興味を持ったもの」についてボランティアと話しながら書きました。



用意したもの

ふりかえりシート  
スタッフ用ふりかえりシート



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ すみません、かんらんしゃはどこですか？
- ☆ ばしょ わからないですからおしえてもらいませんか。
- ☆ しゃしんをとってください。
- ☆ なぜ ならんでいますか？  
(行列を見て)
- ☆ 英語のパンフレットはありませんか。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ みつこしかんらんしゃはみつからないでたいへんでした。
- ☆ おいしいおかしをみつけました。  
おいしそうでしたがたかいです。

## 活動 2

## 体験を言葉にしよう！

1. 1日目の写真をプロジェクターを使ってスライドショーで見ました。自分の活動を思い出し、他のグループが何をしたか知りました。
2. 写真を見ながら、自分の体験をボランティアと一緒にことばにしました。
3. 他のグループの人に自分の体験を話し、お互いに質問しました。



用意したもの

プロジェクター  
スライドショー  
パソコン  
写真ダイジェスト  
ワークシート

## 活動 3

## 体験をみんなに話そう

1. みんなに話したいテーマを決めて、自分の体験を文章にしました。
2. ボランティアと一緒に発表の練習をしました。
3. プロジェクターに活動を映して、全員の前で発表しました。
4. 他の人の発表もしっかり聞きました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ このmapはいいですね。どこでもらいましたか(質問で)
- ☆ きょうは みんな いろいろはなししたから たのしかったです。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ みんなのまえではなすは ときどきします。
- ☆ こんど家族とオアシスに行きます。



## 確認 2

## 2日間をふりかえって

1. 2日間の活動をふりかえり、グループメンバーやボランティアと話しました。
2. ワークシートに感想を記入しました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ いろいろものみて はなすれんしゅうができました。
- ☆ ひとにきくのがドキドキしたけど、たのしくておもしろかった。
- ☆ あたらしいことばをしりました。



こんなこともできる!

学習者自身が行き先を決めるために話しあう時間があってもいいですね。

## 実践を終えて ~ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと~

- ◇ 1日目にはリラックスした状態での自然な会話をしている様子がたくさん見られた。確認の時間では自分の体験をなんとか言葉にして他者に伝えたいという能動的な姿勢が感じられた。
- ◇ 初級の学習者だったので、写真をうまく利用してビジュアルで理解できたのがよかった。
- ◇ ベテランボランティアの自発的な協力により不足を補ってもらえたことが、より良い学習につながった。
- ◇ 活動には教室のボランティアの協力が不可欠だ。事前に活動の理念や手順を共有することが大切だろう。



### 大切だと思ったこと

- 目標を達成する過程で、楽しみながら自然な日本語を使うことができる。
- 自分の話す日本語が「使える!」「伝わる!」と実感することが、学習者にとって大きな自信につながる。

## 2

# 自転車の ルールを知ろう

- ・ 教室開催日：毎週火曜日の午後
- ・ 学習者：名古屋市内およびその近郊で生活する外国人主婦、研修生、学生等
- ・ レベル：来日間もない初級から中上級まで

学習者：10名（フィリピン、韓国、中国、ベトナム、ミャンマー、アメリカ）

ボランティア：9名

外部協力者：2名（交通課警察官）

### 学習者の状況

- 教室まで自転車を利用している
- 自分の子供が自転車に乗る
- 日本の交通ルールがわからない

### 学習者の声

- 日本の自転車のルールって？



### 目標

正しい自転車の交通ルールを知り、安全な自転車走行ができるようになる。

## 活動案の流れ

→ 活動案P.58 ポスターP.59

1日目：10月13日（火） 13:30～15:00（90分）		
活動1	60分	日本の自転車の交通ルールを知る
活動2	30分	こんな時はどうするの？
2日目：10月20日（火） 13:30～15:00（90分）		
活動3	15分	協力者紹介/学習者自己紹介
活動4	75分	おまわりさんによる講習を受ける
3日目：10月27日（火）13:30～15:00（90分）		
活動5	90分	あなたの国ではどうですか？



カリキュラム案  
について

P.131

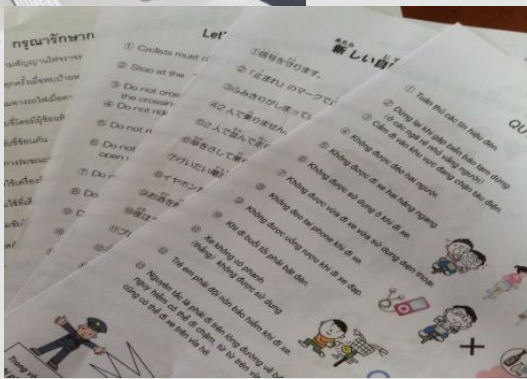
## 事前の準備・下調べ

- 交通課警察官との打ち合わせ・（日時、講習時間、準備するもの等）
- 活動4で使うDVDを事前に視聴

活動1 日本の自転車の交通ルールを知る

いつものレベル別グループで資料を使って事前学習

1. イラストを見ながら自転車の交通ルールを学びました。
2. 2日目の活動で使うDVDに出てくる言葉をワークシートを使って学習しました。



用意したもの

各国語対応イラスト付き資料  
パンフレット(自転車安全教室)  
ワークシート(DVDに出てくる言葉)

活動2 こんな時はどうするの？

おまわりさんに聞こう!  
次回、おまわりさんに聞きたいことをみんなで出しあいました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ 「さすべえ」っていいの?
- ☆ 横断歩道を渡る時、自転車に乗ったまま渡ってもいいの?
- ☆ 自転車って道路の右側?左側?



ここがポイント!

みんなで出し合うことで、ことばの確認ができますね

### 活動 3

### 協力者紹介/学習者紹介

学習者は母語で「こんにちは」と挨拶をしました。



少し緊張が  
ほぐれたかな?



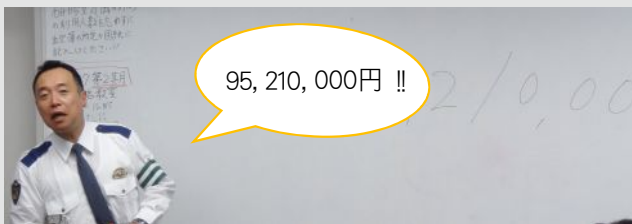
こんなことばを  
覚えました

安全・危険・車道・歩道  
横断歩道・右側通行・左側通行  
損害・歩行者・通学中・衝突  
死亡・賠償金・事故・信号無視  
二人乗り・禁止 など

### 活動 4

### おまわりさんによる講習を受ける

1. 自転車に乗った少年がサッカーの試合に急ぐ途中、高齢の歩行者と接触事故を起こしてしまう内容のDVDをみました。
2. 賠償裁判の事例の解説を聞きました。
3. おまわりさんに質問しました。



95,210,000円 !!



ボールがうまく  
とれませ〜ん

ゴーグルで飲酒運転体験



学習者からこんな  
日本語ができました

☆難しい!! でも、DVDを見てよくわかりました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆アルコールは絶対ダメなの?
- ☆死亡と意識不明で損害賠償金の違いはどこから来るの?
- ☆「さすべえ」は違反なの?
- ☆自転車は歩行者信号、自動車信号どちらに従うの?
- ☆ 自転車に乗る時は左側
- ☆ 夜はライトをつける
- ☆ 損害賠償金が高い。
- ☆ 2人乗りはダメ
- ☆ ベルは鳴らさない
- ☆ メガネをかけて飲酒後の危険がよくわかった
- ☆ 今まで知らなかったことを聞いて参考になった。
- ☆ これからも気を付ける。

## 活動 5

## あなたの国ではどうですか？

ボランティアが「あなたの国ではどうですか?」と問いかけ、日本のルールとの違いを確認しながらもう1度交通ルールのおさらいをしました。

	日本	中国	台湾	フィリピン	ミャンマー	ベトナム
	左	右	右	右	右	右
	×	○	○	○	×	×
	×	○	○	○	×	○
	×	○	○	○	×	×
	×	わからぬ	×	○	×	×
	×	○	○	○	×	×
	×	×	×	○	×	×
	○	×	×	×	×	×
	×	×	×	わからぬ	○	×



学習者からこんな日本語ができました

- ☆日本語がわからない学習者にもやさしい言葉で説明してくれてありがとう。
- ☆DVDを見てルールがわかって安心しました。
- ☆日本に来て自転車のルールがあるなんてびっくりしました。これからは必ず守ります。
- ☆警察の講習でさらに多くの交通規則を知りました。日本ででの生活に役立ちます。
- ☆自転車は自分にとって便利なもの。これからは安全運転で!



ここがポイント!

それぞれの国のルールを比較する活動はおもしろそうですね! 比較することで日本のルールが理解でき、警察の人や私たちも学ぶことが多いと思います。

## 実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ テーマが大変身近な問題だったので、学習者もボランティアも熱心に取り組むことができた。
- ◇ 実際に警察の方の話を聞くことができたので、学習者の印象に残る体験学習になった。
- ◇ 初級学習者には、生活情報としての自転車のルールは理解してもらえたと思うが、日本語の定着効果については疑問が残った。
- ◇ 来日間もない学習者が大半だったので、母語で書かれた事前学習が役に立った。
- ◇ 初級学習者を中上級の学習者が手助けした活動は、お互いに良い学習になった。



### 大切だと思ったこと

- 地域の専門家との打ち合わせは入念に行い、当日の流れを双方が確認すること。
- 事前学習を怠りなく!

# 3

## 買い物に行きましょう

教室開催日：月1～3回 日曜日 午前10:00～11:30

学習者：中国・タイ・インドネシア・モンゴルなど

レベル：初級から上級まで様々

1日目 学習者4名(中国・タイ・インドネシア) ボランティア5名

2日目 学習者7名(中国・タイ・インドネシア) ボランティア7名

3日目 学習者10名(中国・タイ・インドネシア・モンゴル) ボランティア7名

### 学習者の状況

- 中小企業に派遣の社会人
- 初級程度



### 目標

チラシを理解し  
ほしい物が購入できる

### 学習者の声

- チラシで買い物をしたことがない。
- チラシには独特の難しい言葉がある。

## 活動の流れ

→ 活動案P.60 ポスターP.61

1日目:9月6日(日)10:00～11:30(90分)		
活動1	60分	チラシについて話し合う。
確認1	30分	みんなで今日学習したことを話し合う。
2日目:9月20日(日)10:00～11:30(90分)		
活動2	10分	チラシを理解する
活動3	25分	チラシを使って尋ね、購入する
活動4	25分	購入した物について説明する
確認2	30分	体験したことをみんなで伝え合う
3日目:9月27日(日)10:00～11:00(60分)		
確認3	60分	1日目と2日目で、できたことを伝える



カリキュラム案 P.30～41  
について



教材例集 P.93～105

## 事前の準備・下調べ

- 店に出向き、学習者が興味を持ちそうなチラシを調達した。

### 活動1 チラシについて話し合う

1. 日本と学習者の国のチラシのあり方について話し合いました。
2. 物の価格について話し合いました。
3. チラシの中のわからない言葉や難しい言葉を理解しました。



用意したもの

「食品スーパー」「ドラッグストア」  
「電化ストア」「ホームセンター」  
「服飾店」などのチラシ

### 活動2 チラシを理解する

1. 欲しい物を2~3決め、それを選んだ理由を話し合いました。
2. 欲しい物のチラシを選び、チラシの中の語句について話し合いました。

### 活動3 チラシを使って尋ね、購入する

教室の中に店舗をつくり、ボランティアが店員となって、買い物をしました。

1. 自分の求めている物がその店にあるかどうかを尋ねました。
2. 店員に商品について尋ねました。
3. 日本語で表現し、欲しいものを購入しました。



用意したもの

店舗用の立て札、チラシ  
手づくりのお金



こんな日本語を  
伝えました

★チラシには独特の表現が使われます。



学習者からこんな  
日本語ができました

☆「タイムサービス」って何?



こんなことばを  
覚えました

タイムサービス・ブロードバンド  
裾が広い まとめ買い 限定  
税込み 超目玉



学習者からこんな  
日本語ができました

☆この商品のSサイズはありますか?  
☆色違いはありますか?  
☆ノートパソコンの値段を安くしてください。  
☆このぶどうは甘いですか?



こんな日本語を  
伝えました

★サイズや色はあります。  
★ブロードバンドに入れば安くなりますよ。  
★ぶどうは甘くておいしいですよ。



こんなこともできる!

店舗に用意するのがチラシだと混乱してしまうので、チラシを切り抜いたり、商品カードなどをつくったりするといいかもしれません。カリキュラム案の教材事例集やウェブサイトが活用できます。

## 活動 4 購入した物について説明する

1. ほしい物が購入できたかどうかボランティアと話し合いました。
2. 購入した物について話し合いました。
3. 自国の商品との違いについて話し合いました。



## 確認 2 体験したことをみんなで伝え合う

1. 今日の学習で体験したことをみんなに伝えました。
2. チラシには独特の表現があることを確認しました。



学習者からこんな日本語ができました

- ☆食品スーパーのピアゴは値段が高いです。ヤマナカは安くていつも買いに行きます
- ☆ユニクロで以前購入したTシャツが今日は1000円も安くチラシに載っていた。
- ☆自分でジュースを作りたいのでパナソニックのジューサーミキサーがほしかった。
- ☆インドネシアではパナソニックの物が人気があります。



こんなこともできる!

せっかくなので、本当にお店に買い物に行ってははどうでしょう? それが高い場合は、たとえば、不用品バザーのコーナーをつくってみるのもいいかもしれませんね。



学習者からこんな日本語ができました

- ☆本当の店ではなかったけれど、楽しい買い物でした。
- ☆日本にはチラシがたくさんあります。
- ☆レジでのおつりの計算はむずかしかったです。
- ☆お金の支払いが難しかった。



こんな日本語を伝えました

★チラシを使って買い物をすると、とても安く買うことができます。



### 確認3

## 1日目と2日目で できたことを伝える

ふりかえりシートにそれぞれ記入した後、話し合いをしました。

1. チラシを理解することができたか話し合いました。  
(チラシの語句、見方)
2. チラシを使って聞きたいことを聞くことができたか話し合いました。
3. 体験したことを伝えることができたか話し合いました。



学習者からこんな  
日本語ができました

☆チラシは見たことはあるがあまり  
利用していなかった。  
☆教室で体験した通り、店に行って前  
から欲しかったジューサーやミキサー  
を買うことができました。

## 実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 体験に参加する学習者の数が予想していたより多く活気があり、良かった。
- ◇ 「模擬とはいえ、とても楽しかった。」「日本語を使う勉強になった。」など学習者も楽しんでくれたので良かった。
- ◇ 模擬店のリアル性にやや欠けたのでもう少し工夫すれば良かった。
- ◇ 学習者が興味のあることを深く掘り下げて話せた。
- ◇ 日本語が理解できない学習者に、ボランティアが質問することで発話を促すことができた。
- ◇ 今回の体験が学習者にとって、意義あるものだったと実感することができた。
- ◇ 学習者のレベルに合わせた教室運営は難しいが、学習者が楽しく、かつ身近な生活から正しい日本語を習得できる場にしたい。
- ◇ これらの体験教室が次の学習展開の礎になると良い。



### 大切だと思ったこと

- 学習者に説明をするときは、よくわかる、やさしい日本語で話す。
- 「使える日本語」をより知ってもらうために日常生活上よく使う日本語で話すように心がける。
- 学習者の発話を促す言葉がけをする。
- 身近な生活にすぐ使える日本語が学べるテーマや素材を選ぶ。

# 4

## 買いものを しよう

教室開催日：毎週金曜日 午後7時～8時30分  
 学習者：ドミニカ共和国・ベトナム・中国など  
 レベル：入門から上級まで様々

1日目 学習者3名(中国・ドミニカ共和国・ベトナム 各1名) ボランティア4名  
 2日目 学習者3名(中国2名 ベトナム1名) ボランティア4名

### 学習者の状況

- 日用品の買い物に関心が高い

### 学習者の声

- 色々な店を知りたい

### 目標

生活に必要な物や  
 欲しい物を買うことができる

## 活動の流れ

→ 活動案P.62 ポスターP.63

### 1日目：10月2日(金) 19:00～20:30 (90分)

活動1	60分	日本の学用品を知る
活動2	20分	学用品の購入先について知る
活動3	10分	一番欲しい物を調べよう

### 2日目：10月9日(金) 19:00～20:30 (90分)

活動4	70分	買い物の様子を発表しよう
確認1	20分	学習したことをふりかえる



カリキュラム案  
 について

P.30～41



教材例集 P.93～105

活動 1

日本の学用品を知る

1. 封筒や便箋、色鉛筆などの学用品のサンプルを見ながら、気付いたことを話し合いました。便箋・封筒など使用目的によって形式が違うことがわかりました。
2. 封筒の郵便番号枠や一筆箋など学習者にとって馴染みのない学用品について、使い方やわからないことを尋ねました。



活動 2

学用品の購入先について知る

1. 自分の国では、どこで学用品を買っていたか経験を発表しました。
2. 今、持っている学用品やなど、日本ではどこで買い物しているか話し合いました。



学習者からこんな日本語ができました

- ☆赤い口は、なんですか?
- ☆それ(色鉛筆)は、アメリカ製ですよ。
- ☆ここに、番号を書きますか?



こんな日本語を伝えました

- ★郵便局の機械が読み取ってくれます。
- ★これは手紙を書く時に使う便箋です。
- ★スケッチ用の色鉛筆で、鉛筆で描いた後、筆で水書きすると、薄い色がつきます。



学習者からこんな日本語ができました

- ☆文房具は、本屋で買います。
- ☆ モールで買います。
- ☆ このペンケースは100円ショップで買いました。
- ☆ 安い物」と「安物」とは違います。



こんな日本語を伝えました

- ★アピタがあるんですね
- ★日本には「安物買いの銭うしない」という諺があります。



ここがポイント!

実際に物があると、学習者同士の会話もはずみますね。

### 活動 3

## 一番欲しい物を調べよう

1. 今、一番欲しい物は何か発表しました。
2. 来週までの課題の「欲しい物が売っている店へ行き、値段や品物について調べてくる」についての説明を聞きました。

### 活動 4

## 買い物の様子を発表しよう

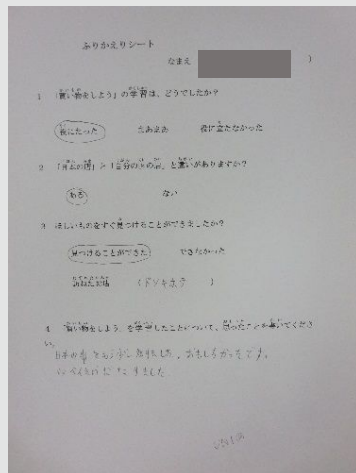
1. 先週出された課題について「どこで」「何を」買ったかを発表しました。
2. 欲しい物がすぐに見つけれられたかなど、買い物の時の様子について話しました。
3. 自分の国の店と違っている点、似ている点について話し合いました。



### 確認 1

## 学習したことをふりかえる

1. 買い物の学習は役に立ちましたか」「日本の国と自分の国との違いがわかりましたか」など、ふりかえりシートに書きました。
2. ふりかえりシートを読みながら、学習について話し合いました。



学習者からこんな日本語ができました

☆タブレットが欲しいです。  
☆服が欲しいです。



ここがポイント!

夜の教室なので、一緒に買い物に行くことは難しいけれど、「次回までに調べてくる」という課題を出すという工夫で、実践的な「行動・体験型」にできますね。



学習者からこんな日本語ができました

☆抹茶味のキットカットを買いました。ベトナムで人気があります。  
☆ドンキーホーテに行きました。  
☆タブレットを買いました。店を3軒回りました。国では1.5倍します。  
☆「油」という日本語を忘れてしまったので、買わずに家に帰りました。  
☆欲しかった日記帳を半額で買いました。



学習者からこんな日本語ができました

☆これからも もっと 積極的に買い物をします。  
☆難しかった。でも楽しかった。

## 実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 身近な学用品の実物を提示したことで、学習者の関心を引くことができた。
- ◇ 学習者に提示する学用品を準備する時、次のことに留意したことがよかった。
  - ・一筆箋や縦書きの便箋のように学習者に余り馴染みがなく日本的な物
  - ・使用目的によって形式や種類がたくさんあるような物
  - ・スケッチ用色鉛筆のように、特殊な使い方をするような物
  - ・2日目の課題について学習する時にモデル提示できるよう、半額で購入した日記帳
- ◇ 学習者同士が自ら気付いて発言をしていた。このような学習者同士の学び合いを大切にしたい。
- ◇ 始めて接する学習者で心配だったけれど、「学習が役にたった」と言われてよかった。
- ◇ 学習者のニーズが多様なので、教室全体で取り組むことが難しい。
- ◇ やり取りをする学習者とボランティアが同じペアだったので、これからは時々相手を変えて話し、多くの日本人と話す機会がもてるように配慮するとよい。



### 大切だと思ったこと

- 外国の人から出た言葉で、私たちも外国の人から学ぶことができる。



学習者同士が教えあっている

# 5

## チラシを見て 買い物をしよう

教室開催日：土曜：19:00～20:30 木曜、日曜：10:00～11:30  
 学習者：ベトナム、中国、フィリピンで75%を占め、約15ヶ国の方が参加  
 レベル：入門から初級前半と中級レベルの方が多く、上級レベルの方もいる

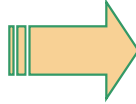
学習者：7名（タイ2名・フィリピン2名・ブラジル2名・ベトナム1名）  
 コーディネーター：1名 ボランティア：3名

### 学習者の状況

- 買い物は必須行為
- 事前に情報を得たり、わからないことを尋ねて買い物をした経験は無い

### 学習者の声

- 日本ではチラシを見ない
- チラシの言葉がわからない
- 店員にわからないことを質問したことがない



### 目標

チラシで欲しい物を事前に調べて買い物ができる

## 活動の流れ

→ 活動案P.64 ポスターP.65

1日目：9月19日(土) 19:00～20:30 (90分)		
活動1	20分	チラシの役割を知る
活動2	20分	チラシの中から欲しいものを選び、理由を話す
活動3	20分	買う物を決める
活動4	15分	買い物の時に質問したり、お願いすることを練習する
確認1	15分	今日学んだことをふりかえる
2日目：9月20日(日)10:00～11:30 (90分)		
活動5	60分	店で買い物する
確認2	30分	買い物をふりかえる
3日目：9月27日(日)13:00～15:00 (120分)		
活動6	120分	自分たちで買ったものを使ってバーベキュー会に参加する
4日目：10月24日(土) 19:00～20:30 (90分)		
確認3	60分	活動をふりかえる
活動7	30分	お礼状を書こう



カリキュラム案  
について

P.30～41



教材例集 P.93～105

## 事前の準備・下調べ

- 国際交流協会を通じて、候補となる協力店に協力を文書で依頼する。
- ドラッグストアの店員に活動の目的を説明し、具体的に協力をお願いする。
- スーパー、ホームセンター、ドラッグストアのチラシを用意する。
- 日本語教室のバーベキュー会に活かすために、購入品のガイドライン(品物・費用)を確認する。

## 実践活動

### 活動1

### チラシの役割を知る

1. 色々なチラシを見て、チラシについて知っていることを話し合いました。
2. 母国のチラシについて話し合いました。



用意したもの

- ・スーパー、ホームセンター、ドラッグストアなどのチラシ
- ・ワークシート



学習者からこんな日本語ができました

- ☆ 日本で、チラシを見たことありません。
- ☆ チラシで、安いもの みます。



こんなことばを覚えました

お得、セール 割引 本日限り  
ポイント5倍デー

### 活動2

### チラシの中から欲しいものを選び、理由を話す

1. 知っていることばをチラシからさがしました。
2. 好きなチラシを見ながら、欲しい物を選びました。
3. 欲しい物と選んだ理由を話しました。



用意したもの

いろいろなチラシ・付箋・ワークシート



学習者からこんな日本語ができました

- ☆ お得なことば、割引です。毎日使いますから
- ☆ 牛肉が欲しいです。美味しいですから



こんな日本語を伝えました

★漢字の読み方、意味が わかりますか。

### 活動 3

## 買う物を決める

1. 買う物をチラシの中からさがし、付箋に書きました。
2. 「チラシにはないけれど買いたい物」を付箋に書きました。
3. 買い物リストを作りました。
4. 買い物の時にお店の人に質問することを話し合いました。



用意したもの

買い物に行くお店のチラシ  
ワークシート

### 活動 4

## 買い物の時に質問したり お願いすることを練習する

1. 学習者が客、ボランティアが店員になって、わからないことを質問する練習をしました。
2. 相手をかえて練習しました。



用意したもの

ロールプレイ指示カード  
店内商品配置図  
領収書見本

### 確認 1

## 今日学んだことをふりかえる

学んだことをみんなでふりかえりました。



学習者からこんな  
日本語ができました

☆ 火をつけます。  
チューブ? ジェル? 何ですか。



こんな日本語を  
伝えました

★着火剤と言います。



こんなことばを  
覚えました

紙コップ 紙皿 割り箸  
お茶パック サランラップ  
虫よけスプレー



学習者からこんな  
日本語ができました

☆いつもはいくらですか?  
☆紙コップはどこにありますか?



こんな日本語を  
伝えました

★こちらでございます。



こんなことばを  
覚えました

領収書を書いてください。  
あて名 但し書き



## 活動 5

## 店で買い物する

1. 買い物の分担を決めました。
2. お店の人にわからないことを質問しました。
3. お店に売っている物で、お得な物をさがしました。
4. 欲しい物を買いました。
5. 領収証を書いてもらいました。



学習者からこんな  
日本語ができました

☆(水は)1本78円、6本380円、お得  
でした。

☆着火剤と炭はどこにありますか。  
☆領収証とあて名 KIFAV(という日  
本語) 忘れた(ので)「前の人と同  
じです」と言った。

☆「(サランラップの) 箱の色はなん  
ですか」と聞いたら「サイズがち  
がいます」と(店員が) 言った。

## 確認 2

## 買い物をふりかえる

今日の学習でわかったこと、わからなかったこと、できた  
こと、できなかったことをふりかえりシートに記入しました。



用意したもの

ふりかえりシート

## 活動 6

## 自分たちで買ったものを持って バーベキュー会に参加する

1. 日本人スタッフと一緒に、火おこしや材料を準備した後、  
グループに分かれバーベキューをしました。
2. 食べ終わった後は、みんなで片づけをしました。



学習者からこんな  
日本語ができました

☆フィリピンのバーベキューはエビ  
が多いです。♡

☆ベトナムは、にんにくも焼く。

☆味つけは、タイは、もっとからい

☆ビールがほいしいです。



ここがポイント!

交流も兼ねているので、心開いて話  
ができますね。

### 確認 3

### 活動をふりかえる

1. 1日目から3日目の活動の写真を見ながら、どんなことをしたか、どんなことを話したかふりかえりました。
2. 写真を台紙に並べ、その時の活動を付箋に書きました。



用意したもの

活動の記録写真  
付箋



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆良い経験をしました。
- ☆なかなか、楽しいことがいっぱい。
- ☆日本人とたくさん話をしました。  
テントの張り方を話しました。
- ☆バーベキューの準備の仕方が  
わかりました。
- ☆他の国の人と友達になりました。

### 活動7

### お礼状を書く

2日目の協力店舗へ、お礼の寄せ書きをしました。



ここがポイント!

一連の活動を通して、地域の人とつながること、いつもとは違うボランティアとつながることで相互理解が深まります。日本語使用も増え、学習者もこの活動の意義を実感することができたと思います。

## 実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 学習者の国のチラシとの違いを聞き出したり、好きな物が何かを聞き、学習者に説明してもらうことによって興味を引き出すことができた。
- ◇ 初日の活動で、学習者の日本語レベルの事前の確認が、十分な活動支援に必要であることを再認識した。
- ◇ 活動後の「ふりかえり」が、必要な言葉の定着につなげるために重要だとわかった。
- ◇ 実際の店舗での活動を取り入れたことにより、地域に対して外国人生活者の実状について発信することができ、お互いが共生していくことのきっかけ作りができた。
- ◇ 1日目から3日目までの活動の写真、使用した資料、活動での成果物を提示しながら話をすることで、薄れていた記憶も蘇り、徐々に話も盛り上がり、楽しくふりかえりをする事ができた。
- ◇ 学習者がふりかえりの内容を付箋に書きながら進めたことにより、情報の共有ができ、発話を促すことができた。
- ◇ 学習者の日本語能力の差による発言頻度をコントロールしきれなかった。
- ◇ 学習者に企画段階から入ってもらうことにより、さらに良いカリキュラムができると思った。
- ◇ 行動体験型カリキュラムでは実践の場が重要であるが、地域の協力を得るには協会や市役所の協力体制も必要である(今回は協会の協力を得て実現した)。



### 大切だと思ったこと

- 学習者にとって日々の生活に直結する活動テーマを選ぶ。
- 日々のふりかえりで学習者の気づきや実践した後の言葉が定着する。
- 良い活動にするには、テーマについて学習者の要望を良く聞くこと、実践の場を関係団体と連携して作る事が重要である。

# 6

## 日本の銀行のATMをうまく使おう

教室開催日：土曜日の午前

学習者：中国・韓国・ベトナム・フィリピン・タイなど。

レベル：入門から上級まで 普段は少人数グループで教室活動を行っている

学習者：12名(中国・韓国・ベトナム・タイ・フィリピン・アメリカ・フランス)

ボランティア：5名

外部協力者：1名

### 学習者の状況

- 給与の入金のため日本の銀行口座は持っている
- ATMは現金をおろすときのみ使う

### 学習者の声

- 手数料のことがよくわからない
- 母国へ送金したい

### 目 標

- 日本の銀行ATMをうまく活用できる
- 友達にATMの使い方を教えることができる

## 活動の流れ

→ 活動案P.66 ポスターP.67

### 1日目：10月10日(土) 10:30~12:00 (90分)

活動1	25分	日本の銀行ATMについて基本知識を知り、日本語で説明する
活動2	65分	ATM活用方法について知る

### 2日目：10月17日(土) 10:30~12:00 (90分)

活動3	90分	ATMを日本語で操作する
-----	-----	--------------

### 3日目：10月31日(土)10:30~12:00(90分)

確認1	90分	活動をふりかえる
-----	-----	----------



カリキュラム案  
について

P.56~59



教材例集 P.106~115

## 事前の準備・下調べ

- 銀行の方との打合せ
- 銀行ATMの写真撮影およびスライドの作成

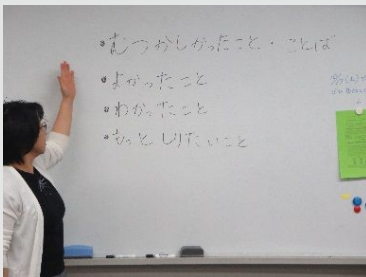
**活動 1** 日本の銀行ATMについて基本知識を知り、日本語で説明する

1. 日本の銀行ATMを使ったことがあるか？ 銀行口座をもっているか？学習者が挙手・発表していました。
2. 日本のATMをどのように活用しているのかを学習者が説明しました。



**活動 2** ATM活用方法について知る

1. ATMの使い方や活用方法について銀行の方の説明を聞きました。
2. どんな言葉がわからなかったか、グループで話し合いました。
3. グループで話したことを全体で発表しました。
4. できたことや難しかったことをワークシートに記入し、伝え合いました。



 学習者からこんな日本語ができました


☆お金をおろす、お金を入れる

 こんなことばを覚えました

ATM 口座 預け入れ  
引き出し 残高照会 通帳記入

 ここがポイント!

覚えてほしい日本語をどう伝えるか？こちらで準備して提示するより、学習者から引き出したり、自ら見つけたらできる工夫があるといいですね。

 学習者からこんな日本語ができました

☆銀行がつぶれたら、お金はどうしますか？

 こんなことばを覚えました

海外送金、補償金、窓口

 ここがポイント!

外部協力者は、必ずしもわかりやすい日本語で話してくれるわけではありませんし、逆に外国人だからといって、必要以上にゆっくりやさしい日本語で話をされても、意味がなくなってしまいます。前もって、プログラムの趣旨をきちんと伝えておくことが大切です。

### 活動 3

## ATMを日本語で操作する

1. 前回でてきた言葉について復習しました。
2. 銀行へ行き、銀行の方の話を聞きました。
3. 実際にATMを使ってみました。
4. 銀行の方へ質問しました。
5. できたことや難しかったことをワークシートに記入し、伝え合いました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆レートはどうですか?
- ☆中国の銀行に送れますか?
- ☆留学生も口座は作れますか?



こんなことばを  
覚えました

手数料無料、移動ATM



ここがポイント!

外に出向く活動では、なかなか難しいかもしれませんが、その日の活動をその日にふりかえることは重要です。下見をしてふりかえりをする場所を確保したり、その場で臨機応変に工夫できるといいですね。

### 確認 1

## 活動をふりかえる

1. 前回の内容をふりかえりました。
2. 難しい言葉や、疑問に思ったことを話し合い、発表しました。
3. 質疑応答をしました。
4. グループで話したことを全体で発表しました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ 為替



ここがポイント!

写真を見ながらふりかえると、一緒に活動できなかった他の人たちにもよく伝わります。学んだこと、体験したことを、学習者が自分のことばで伝えることで、日本語がより定着しますね。

## 実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 銀行のことがよく理解でき、自分の体験を人に伝えることができたのはよかった。
- ◇ 学習者に役立つテーマであったか?の疑問が残った。
- ◇ 「もっとやりたいこと」では日本文化に関するテーマのニーズが高かった。



### 大切だと思ったこと

テーマは担当者だけで決めずに、ボランティア・学習者全体で話し合って決めるといい。



### ここがポイント!

ボランティアからは、テーマがニーズにあっていたのか疑問であるとの声も出ていますが、当日は、学習者の顔が生き生きしているのが印象的でした。最後の確認の時間に、学習者から「他にこんなテーマをやりたい」という意見がたくさん出ていましたが、それは、今回の活動が楽しかったからではないでしょうか。



# 7

## ハローワークへ 行ってみよう

教室開催日：金曜日の午後1時半～3時（季節休暇有り）

学習者：中国、台湾、韓国、ミャンマー、スペイン、コロンビア、ロシア他  
日本人の配偶者、日本で仕事、日本語教師、短期滞在と様々

レベル：入門から上級まで目的やレベルに合わせた少人数グループ制

学習者：6名（台湾 ミャンマー 中国 コロンビア スペイン 韓国）

ボランティア：4名

※ 3日目 学習者11名 ボランティア13名

外部協力者：2名

### 学習者の状況

- 日本語中級の学習者は今すぐにも仕事がしたい
- 初級の学習者ももう少し日本語が上達したら働きたいと思っている



### 目標

ハローワークへ行って  
仕事を探せるようにする

### 学習者の声

- 仕事の情報が欲しい
- ネットで探すのだが、その後の一歩が踏み出せない

## 活動の流れ

→ 活動案P.68 ポスターP.69

1日目：10月2日（金） 13:30～15:00（90分）		
活動1	65分	ハローワークってこんなところ
活動2	20分	ハローワークまでの行き方
確認1	5分	ふりかえり
2日目：10月9日（金） 13:30～15:00（90分）		
活動3	30分	ハローワークを実際に利用してみる（移動時間20分）
活動4	30分	パソコンで仕事を探す
確認2	10分	ふりかえりシートに記入する
3日目：10月16日（金） 13:30～15:00（90分）		
確認3	45分	ハローワークってこんなところだった！
活動5	30分	礼状を書く
活動6	15分	クラス全員の前で感想を発表する



カリキュラム案  
について P. 137～138

## 事前の準備・下調べ

- ハローワークの場所、交通手段と所要時間の確認
- ハローワーク見学と解説の依頼
- 教室内でのハローワーク説明をボランティアに依頼



## 活動1 ハローワークって こんなところ

ハローワークについての説明を聞きました。

- 求人の受付と紹介
- 就職支援活動
- 雇用保険の取り扱いと雇用促進事業



 用意したもの

- ホワイトボード
- ハローワーク説明用レジュメ
- ワークシート(案内チラシ・写真)

## 活動2 ハローワークまでの行き方

1. 実際に行く方法を確認しました。
2. AIAロビーに集合組と現地集合組の最終集合地と時間を決めました。



学習者からこんな日本語ができました

- ☆資格って日本語能力試験のこと?
- ☆〇〇がしたいけどそれには資格が要りますか?



こんな日本語を伝えました

- ★いままでどんな仕事をしてきましたか?
- ★その時ライセンスが必要でしたか?



学習者からこんな日本語ができました

- ☆前に一度行ったことがあるから直接自分で行けるとおもいます。



こんな日本語を伝えました

- ★遅れる時や迷子になった時にはボランティアに電話をください。



こんなこともできる!

- 行き方や集合場所、連絡方法をきちんと確認しておくことは、普段の生活の中でも重要ですね。

### 活動 3 ハローワークを実際に利用してみる

1. ハローワークを見学しました。
2. 就職支援担当者から説明を聞きました。



用意したもの

求人ファイル  
各種パンフレット  
ワークシート



### 活動 4 パソコンで仕事を探す

1. パソコンを使ってホームページを検索してみました。
2. 必要事項を入力しました。
3. 母語の求人票も使いながら、条件に近い仕事を探しました。



### 確認 2 ふりかえりシートに記入する

1. ハローワークを訪問した感想を話し合いました。
2. ふりかえりシートに記入しました。

用意したもの

ふりかえりシート



学習者からこんな  
日本語ができました

☆母語の求人ファイルがある!  
でも日本語能力を求められる仕事  
は日本語で書いてある・・・冷汗  
☆ひとりで来た時には声を掛けられ  
ないよう係りの人と目が合わないよ  
うにして急いで見て急いで帰った。



学習者からこんな  
日本語ができました

☆PCで探せるのならハローワークに  
来る前に調べてから来ても大丈夫  
・・・日本語入力です。



こんな日本語を  
伝えました

★係りの人に声を掛けることが  
できそうですか?



ここがポイント!

訪問場所の広さ、そこでできること  
を事前に把握し、参加者の人数と  
のバランスを考えて活動計画を立  
てたことが成功の秘訣でしたね!

### 確認 3 ハローワークってこんなところだった！

2回の活動に参加した感想を話し合いました。

### 活動 5 礼状を書く

就職支援担当者に礼状を書きました。

用意したもの  
一筆箋

### 活動 6 クラス全員の前で感想を発表する

ハローワークへ行った感想を一人ずつ発表しました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ 外国人専用窓口がある
- ☆ 求人条件は「N2以上」が多い
- ☆ 職業訓練など求職以外の活用もできる
- ☆ 説明してくれた担当の方にお礼が言いたい
- ☆ N2合格をまず目指したい!
- ☆ クラスのみんなにも是非行くことを勧めたい!



こんな日本語を  
伝えました

- ★ 感謝の気持ちを一筆箋に書いてお礼をしましょう。
- ★ 今度からはひとりでも行けそう?



ここがポイント!

自分たちが体験したことを、自分たちの日本語で説明できたことが、とてもよかったですね。

## 実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 学習者は日本語運用能力にかかわらず仕事に就きたいと考えていると気づかされた。
- ◇ ハローワークでは学習者の顔が生き生きとしていた…体験学習のいいところだと思う。
- ◇ ハローワークで説明を聞き、理解を深め、求職体験もし、担当者にお礼状も書いてよかった。
- ◇ ふりかえり時間の最後にクラス全員の前で活動の感想を発表したことによって、学習者は日本語での表現に自信を持てたようでよかった。



### 大切だと思ったこと

- ボランティアが興味を持って活動すれば学習者もいい体験ができる。
- ふりかえりの時間をしっかり取り、学習者自身がクラスで発表することでとてもいい勉強になる。

# 8

## 病気になったら どうしますか

教室開催日：木曜日10:00～11:30・土曜日19:00～22:30 日曜日10:00～11:30  
 学習者：中国・台湾・ベトナム・インドネシア・タイ・フィリピン他  
 レベル：入門からN1まで

学習者：21名（ベトナム・中国・フィリピン・台湾）  
 コーディネーター：3名  
 ボランティア：5名

### 学習者の状況

同じ国の技能実習生で、仕事が忙しく、仲間と過ごすことが多い



### 目標

○ 適切な医療機関の情報を  
知る

### 学習者の声

- 日本人の生活や文化に興味はあるが、それに接する機会は少ない
- 日本の医療機関にかかる場合に不安がある

## 活動の流れ

→ 活動案P.70 ポスターP. 71

1日目:10月25日(日) 10:00～11:45(105分)		
活動1	50分	体の名称を確認し、病気になったときに備える
活動2	40分	休日診療所へ行ってみる
確認1	15分	見学したことを話し合う
2日目:11月8日(日) 10:00～11:30(90分)		
確認2	45分	わかったことや疑問に感じたことを話し合う
活動3	45分	問診票の記載事項を理解する
3日目:12月13日(日) 10:00～11:30(90分)		
活動4	90分	近くの病院について調べる



カリキュラム案  
について

P.14～18



教材例集 P.7～39

## 事前の準備・下調べ

- 刈谷医師会休日診療所への依頼とポスター作成
- 診察申込書の手配

## 活動 1

### 体の名称を確認し、 病気になったときに備える

1. 今までに病気になった時のことを話しました。
2. 体の各部位の名前を確認しました。
3. 病気になったときの医者のかかり方などについて、医師の話を聞きました。
4. 健康保険の大切さを学びました。



用意したもの

- 体の部位の絵
- ワークシート
- ポストイット
- マジック

## 活動 2

### 休日診療所へ行ってみる

1. 刈谷医師会休日診療所を訪問しました。
2. 当直の医師や看護師から病院に来てからの流れを聞きました。
3. 診察申込書について説明を聞きました。



用意したもの

ワークシート  
診察申込み書



学習者からこんな  
日本語ができました

☆国から持ってきた薬を飲んでいる。  
☆いつから、どのように、どこが痛いかを伝えるのが大事。  
☆痛さの表現が難しい。



学習者からこんな  
日本語ができました

☆ほかの市の人も行けるのかな。  
☆お医者さんが親切だった。

## 確認 1

## 見学したことを話し合う

1. 見てきたことやわかったことを話し合いました。
2. 診察申込書を書いてみました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ 病院がきれいだった。
- ☆ ぜんそくがわかりました。
- ☆ 病院に行くハードルが下がりました。

## 確認 2

## わかったことや疑問に感じたことを話し合う

1. スライドを見ながら、わかったことや疑問に感じたことを話し合いました。
2. 診察申込書を書いてわからなかった言葉を確認しました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ 日本の方はみんな親切だった。
- ☆ はしかがわかりました。
- ☆ 水疱瘡がわかりました。



こんなこともできる!

診察申込書や問診票は、多言語版があれば活用してもいいですね。

## 活動 4

## 近くの病院について調べよう

1. 自分の家の近くの病院をさがしました。
2. さがしてみても、わかったことを話しました。
3. 協会の職員から「外国人向けの無料医療相談会」の説明を聞きました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ 整形外科の意味が台湾とは違いました。
- ☆ 腰が痛いときどこに行くかわかりませんでした。
- ☆ 漢方医学はどこにもあることがわかりました。
- ☆ カイロプラクティックは保険が効かないのですね。



ここがポイント!

体験だけに終わらず、地域の病院について調べて発表するところまでできたのがいいですね。

## 実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 人数が多すぎて、病院の方の説明がみんなに聞こえなかった。
- ◇ 言葉が通じない日本で病院に行くことは難しいと思っていたが、日本の病院の方々はみんな親切で病院に行くことのハードルが下がったようである。
- ◇ 病気ということは避けて通れない課題であると思い実施したが、今度はもっと学習者のニーズを把握してから行いたい。
- ◇ 知らない土地で病気になった時の不安を常に抱えて生活している学習者にとっては、とてもよい経験になったようである。
- ◇ ボランティアが行動・体験型の活動の良さに気付いた。



### 大切だと思ったこと

地域の関係機関と協働することが大切



## 地震時の 緊急対応

教室開催日：土曜日午後2時から

学習者：バングラデッシュ・パキスタン・インド・カザフスタン・中国・ミャンマー・  
ブラジル・ペルー・インドなど。

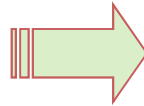
レベル：サバイバルから上級まで

学習者：12人(バングラデッシュ・パキスタン・インド・カザフスタン・中国・ミャンマー・  
ブラジル・ペルー・インド)

ボランティア：9人

### 学習者の状況

- 学習者は愛知県内の様々な地域から来ている
- 仕事で来日の人・日本人と結婚して来日し、家族で住む人等々



### 目標

防災用品の必要性を知り、  
地震にあったとき、自分の  
身が守れるようになる

### 学習者の声

地震に遭ったことがないので、怖い

## 活動の流れ

→ 活動案P.72 ポスターP.73

### 1日目：9月26日(土) 14:15～15:30 (75分)

活動1	15分	地震について知る
活動2	15分	地震が来たときの避難の体験をする
確認1	45分	第1回の活動をふりかえる

### 2日目：10月31日(土) 14:00～15:30 (90分)

活動3	15分	なぜ防災用品が必要かを学ぶ
活動4	30分	防災用品を学ぶ
確認2	45分	2回の活動をふりかえり、防災の大切さに気づく



カリキュラム案  
について

P.22～25



教材例集 P.55～71

## 事前の準備・下調べ

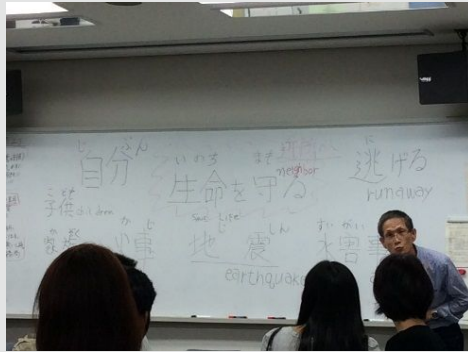
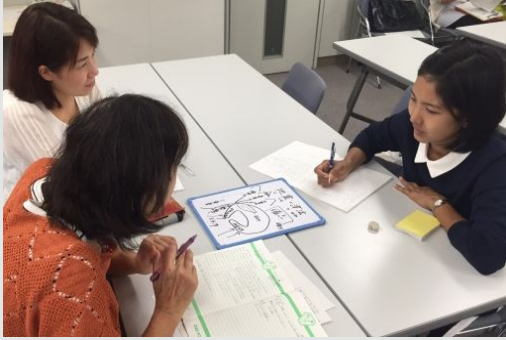
- 地震に関する言葉を調べる
- 防災用品・非常食を準備する



活動 1

地震について知る

- 1. 地震とはどういうものか、説明を聞きました。
- 2. 初期行動について説明を聞きました。



学習者からこんな日本語ができました

- ☆ 日本で初めて地震を体験してビックリした。
- ☆ 良かった。勉強になった。

活動 2

地震が来たときの避難の体験をする

地震が来たときの身の守り方と建物の安全な場所への避難を体験しました。



こんな日本語を伝えました

- ★ 揺れがおさまるまでは、机の下などで、頭と身体を守り、揺れがおさまったら、安全な場所に避難しましょう。



学習者からこんな日本語ができました

- ☆ 大丈夫です。



こんなこともできる!

実際に体を使って行動・体験することで、地震への心構えができます。乗り物に乗っているときや別の場所ではどうすればいいかを話しあっておくのもいいですね。

### 活動 3

## なぜ防災用品が必要かを学ぶ

防災用品がなぜ必要なのか、説明を聞きました。



### 活動 4

## 防災用品を学ぶ

ボランティアが持ち寄った防災用品について、使い方を織り交ぜて説明を聞きました。



用意したもの

避難袋 防災用品



こんな日本語を  
伝えました

★ライフラインが失われたとき、  
救援隊が来るまでの間、命をつ  
なぐのが防災用品です。



学習者からこんな  
日本語ができました

☆子どものための品物の準備を  
考えたい。  
☆防災用品を用意していないの  
で、参考にして準備します。



ここがポイント!

避難袋を持ち寄ったリアリティのある  
活動は、学習者にはもちろんですが、  
ボランティアにとっても気づきが多い  
活動になると思います。



学習者からこんな  
日本語ができました

☆カイロを初めて見た。  
☆水を入れる折りたためる、ポリ容  
器は軽くて、とても良い物だとおもう。



こんな日本語を  
伝えました

★ラップは大事



こんなこともできる!

説明するだけでなく、学習者の国の  
防災用品について聞いてみると、さら  
に会話が広がっておもしろいかもしれ  
ませんね。

## 確認 2

## 2回の活動をふりかえり、 防災の大切さに気づく

2回の活動をふりかえって、どんなことがわかったか、  
どんなことを思ったか、話し合いました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆日本では地震が多い事を知り、  
水と食料品を用意したい。
- ☆暖房用品 (ビニールシート・カイ  
ロ) を知った。
- ☆高層マンションに住んでいるから、  
ロープが必要だとわかった。

## 実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 日本は地震が多いことを学習者が理解でき、地震の時にはどの様に自分の身を守るかを学んだ。
- ◇ 大地震では、ライフラインも失われる為、防災用品の準備と必要性に学習者が気づいてくれた。
- ◇ 実践活動は、日本を知り、日本に親しむきっかけにはなると思うが、日本語の勉強に効果があるか? (ボランティアの準備に掛ける時間等の負担に比べて)
- ◇ 今回は実践活動の手順や内容について初めてのことなので、このように難しく学んだが、次回からはあまり書類にこだわらないで、もっとシンプルに行きたい。
- ◇ 防災ボランティアを活用すると、もっと楽に充実したものになると気づいた。
- ◇ 実践教室はイベント性があるから、学習者とボランティアが打ち解けあえる。



## 大切だと思ったこと

- 発表を想定して、行動実践講座のテーマを選択・決定する。
- 実践を始める前には、ボランティアは十分な準備をする時間が必要。

# 10

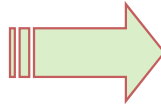
## 地震について 知ろう

教室開催日：毎週水曜日・金曜日 10:00～11:30  
 学習者：国籍は20カ国以上で、女性が多く参加  
 レベル：初級から上級までクラス多数

学習者：22名(5日目 タイ・ミャンマー・台湾・インド・トルコ・フィンランド中国)  
 ボランティア：10名(5日目)  
 外部協力者：4名

### 学習者の状況

- 日本にまだ短期間しか住んでいない人から長く住んでいる人までいる
- 大きな地震を知らない人が多い
- 避難所などを知らない人が多い



### 目 標

地震のとき、身を守ることができる

### 学習者の声

- 地震は知っているけどどうしたらいいかはわからない
- 避難・非常持出袋って何?

## 活動の流れ

→ 活動案P.74 ポスターP.75

1日目：9月30日(水) 10:00～10:30 (30分)		
活動1	25分	自然災害をイメージする
確認1	5分	学んだことをふりかえる
2日目：10月7日(水) 10:00～10:30 (30分)		
活動2	20分	大きな地震ではどんなことが起こるか考える
確認2	10分	学んだことをふりかえる
3日目 10月14日(水) 10:00～10:30 (30分)		
活動3	25分	地震のときに聞くことばを聞いてみる
確認3	5分	聞き取った速報について発表する
4日目 10月21日(水) 10:00～11:30 (90分)		
活動4	60分	講座『地震がおきたらどうしますか』を聞く
活動5	25分	わからなかったことを講師に聞く
確認4	5分	講座を受けてわかったことをふりかえりシートに記入する
5日目 10月28日(水) 10:00～11:30 (90分)		
活動6	90分	地震が起きる前にすること、起きた後ですることを考える



## 事前の準備・下調べ

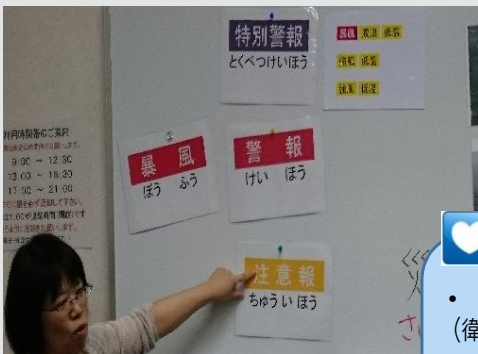
- ボラネットなか・NICとの三者打ち合わせ1回
- NICとの打ち合わせ(メール14回+打ち合わせ数回)
- 見学者用の名札
- 見学者用の当日のお願い(プリント)

## 実践活動

### 活動 1

### 自然災害をイメージしよう

1. どんな自然災害があるか話し合いました。
2. 実際に経験した災害について発表しました。



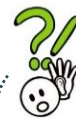
#### 用意したもの

- 台風関連の写真(衛星写真・台風予報円・土砂崩れ・暴風等)
- ホワイトボード
- 自然災害の写真(干ばつ・噴火・火山灰等)
- ふりかえりシート

### 活動 2

### 大きな地震ではどんなことが起こるか考える

1. 大きな地震で起こることを考えました。  
\*津波、火事、建物の倒壊
2. 地震が起きてひどい状態になっても、必ず復興していくことを確認しました。
3. 復興させるには、自分が元気に生きていなければならないことを確認しました。



学習者からこんな日本語ができました

☆干ばつは分からなかった。  
☆地震と噴火とどっちが怖いのか?  
私は噴火だと思う。  
☆日本で初めて地震にあった時、  
すごくびっくりした。



学習者からこんな日本語ができました

☆怖いね。  
☆ちゃんと直るね!すごいね



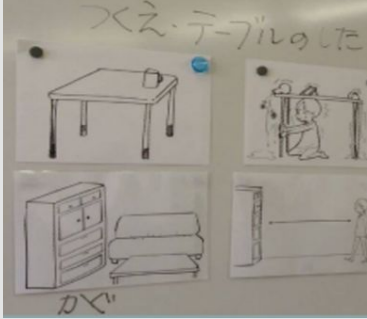
ここがポイント!

震災の写真を見ると、怖さのイメージが強くなってしまいますが、復興後の写真も見ることによって希望ももつことができます。

### 活動 3 地震の時に聞くことばを聞いてみる

緊急地震速報を聞きました。

1. その中から難しい言葉を取り出し、意味を確認しました。
2. 緊急地震速報以外に地震の時、耳にする言葉を確認しました。
3. 外出中はどうしたらよいか確認しました。



用意したもの

見学者用活動説明書  
名札 資料 マイク  
プロジェクター

### 活動 4 講座『地震がおきたらどうしますか』を聞く

1. 地震の動画を見ました。
2. スライドを見て地震の前に準備すること(避難所の場所・非常持出袋の準備等)を学びました。
3. 避難してからの動きを学びました。
4. ボランティアと一緒にゴミ袋でカップ、キッチンペーパーでマスクを作りました。



ゴミ袋で  
ポンチョができる  
べんりですね!

用意したもの

はさみ  
輪ゴム  
キッチンペーパー

### 活動 5 わからなかったことを講師に聞く

1. わからなかったことをボラネットの人に質問して確認しました。
2. 『笛』のプレゼントをもらいました。
3. 笛の使い方を確認しました。(災害時の使い方やPERSONAL ID CARDの書き方)



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆エレベーターのボタンを全部押すのは知らなかった。
- ☆家具から離れる。
- ☆身の安全
- ☆言ってることはわからないが、危険だとわかった。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆非常持出袋の準備が必要なおことがわかりました。
- ☆地震の時小学校・公園へ行きます。
- ☆水3日分を用意します。
- ☆帰ったらすぐに非常持出袋を作ります。
- ☆主人と会う場所を決めます。
- ☆机の下で足を掴む。
- ☆カップが上手に出来た。
- ☆マスクが小さかった。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆笛が貰えて嬉しい!ちゃんと名前書く。
- ☆講座の言葉が難しい。
- ☆とても楽しかった。



ここがポイント!

ワークシートは、学習者が理解できるよう、母語で書くのか、ローマ字で書くのか、絵で描くのか、工夫するといいですね。

## 活動 6

### 地震が起きる前にすること、 起きた後にすることを考える

1. ボランティアと一緒に活動4, 5を思い出しながら、地震の前と後にすることをイラストカードで分けました。
2. 分けたカードをホワイトボードに貼って発表しました。
3. ボランティアと一緒に自分だけの非常持出袋を作りました。
4. 皆でいないものはどれだったか確認しました。
5. 非常食(かんぱん・缶詰パンなど)を皆で食べて、感想を話しました。



学習者からこんな  
日本語ができました

- ☆ チョコレートはいらないと思っ  
たけど、やっぱりいるかも。
- ☆ やっぱり皿はいらない。
- ☆ 『かんぱん』はおいしくない。
- ☆ 缶詰パンはとてもおいしい。



こんな日本語を  
伝えました

- ★ 冷蔵庫の中の物をまず食べます。

## 実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 震災だけでなく、復興後の写真があったのは良かった。
- ◇ 協力者の熱のこもった講座で、よく理解できた。
- ◇ 自分も知らないことがあり、勉強になりました。
- ◇ 学習者が前に出て、今まで習った言葉を使って、発表する形にしたかったが、時間の関係でできなかったことが残念だった。(内容を欲張ってはいけない)
- ◇ 学習者にレベル差があるので、均等に話してもらうためにもっと工夫する必要があった。
- ◇ 学習者にとって見学者や知らないボランティアが入ることは怖かったと思う。しかし、知らない人達と話して協働することによって、初対面の日本人とも話せるという自信ができたと思う。
- ◇ いろいろな人たちと協働することによって、活動が広がり、学習者も自分も自信をつけていくことは大切だと思った。



### 大切だと思ったこと

- 学習者のニーズをしっかり考えた活動をする。
- 日本語のレベル差がある場合、外国人どうしも助け合えるように座席を配慮する。
- 関わる人たちの間で、活動目的や内容説明、役割確認など、事前の打ち合わせをしっかりする。

# 11

## 災害時に 支援者になろう

教室開催日：週1回日曜日 15:00～17:00

学習者：ブラジル・ペルー・フィリピン・中国・フランス

レベル：日本語での日常会話ができる中級以上

1日目 学習者7名、支援者8名（日本語講師1名、JP7名）

2日目 学習者7名、支援者11名（日本語講師1名、JP10名）

3日目 学習者5名、支援者7名（日本語講師1名、JP6名）

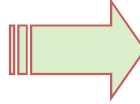
4日目 学習者6名、支援者5名（日本語講師1名、JP4名）

※日本語講師が全体の進行、コーディネートを行います。

※会話や学習のサポートをする日本語パートナー（以下JP）というボランティアも活動を行います。

### 学習者の状況

- 就労者、日本人の配偶者等
- 国籍は、ブラジル・ペルー・フィリピン・中国・フランス
- 日本語での日常会話ができる



### 目標

外国人も支援側になれる  
イメージを持つ

### 学習者の声

- もっと支援者になるための勉強がしたい!
- 災害のことを学びたい!

## 活動の流れ

→ 活動案P.76 ポスターP.78

### 1日目:10月4日(日)15:10～17:00 (110分)

確認 1	10分	日本語でできるかな? 活動前 自己評価
活動 1	80分	避難するときのイメージをつかむ
確認 2	20分	日本語でできるかな? 活動後 自己評価 学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題

### 2日目:10月11日(日)15:00～17:00 (120分)

確認 3	20分	復習しよう 前回ふりかえり 日本語でできるかな? 活動前 自己評価
活動 2	80分	避難所体験をしよう
確認 4	20分	日本語でできるかな? 活動後 自己評価 学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題



3日目：10月18日(日)15:00～17:00 (120分)		
確認 5	10分	前回学んだことを復習しよう
活動 3	100分	学んだことを発表する
確認 6	10分	日本語でできるかな? 活動後 自己評価 学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題
4日目：10月25日(日) 15:00～17:00 (120分)		
確認 7	10分	前回学んだことを復習しよう
活動 4	110分	できることの洗い出しと目標をつくろう ふりかえりと提言



カリキュラム案  
について

P.22～25



教材例集 P.55～71

## 事前の準備・下調べ

- 岡崎市防災危機管理課と当日のワークシートを参考に出前講座の打ち合わせ
- 出前講座の講師にやさしい日本語で話してもらうよう説明する。
- 岡崎市防災ガイドブックを防災危機管理課から入手
- 活動のイメージ導入のためのビデオ・DVDを探す。

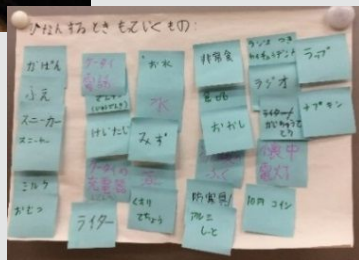
活動 1 避難するときのイメージをつかむ

1. 避難訓練をしたことがあるか、普段の生活でできることを話しました。
2. 地震が起こるとどうなるか、ビデオを見ました。
3. 岡崎市防災ガイドブックの「いつ・どこへ避難する?」を見て、避難の仕方を確認しました。
4. 自宅や職場から避難場所を確認し、地図を作成しました。
5. 自宅や外出先にいる時に、避難する上で注意することを話しました。
6. 災害時に外国人が困ると思うことを挙げてもらい、その対策を考えました。
7. 避難するのに必要なものを付箋に挙げて、発表しました。



用意したもの

- ・ワークシート
- ・仙台国際交流協会DVD「多言語防災ビデオ 地震! その時どうする?」
- ・岡崎市防災ガイドブック



学習者からこんな日本語ができました

- ☆ 地震発生から避難所までに行くまでに使う単語が学べてよかった。
- ☆ 日本語ができないと支援ができないと思っていたが、他にもできることがあるとわかってよかった。

活動 2 避難所体験をしよう

1. 避難所のビデオを見ました。
2. 市職員に避難所の話を聞きました。
3. 簡易トイレ・非常用テントを組み立てました。
4. 避難者名簿を書いてみました。
5. 外国人が支援者になるための要望、講義の感想等を発表しました。
6. 避難所に行かないために備えることを聞く。
7. 普段の生活で意識できること、避難所で支援者としてできること、または助けてほしいことを話しました。



学習者からこんな日本語ができました

- ☆ 備蓄・家具の固定をすると避難所に行かなくても大丈夫です。
- ☆ 貼り紙にふりがな、絵・写真がたくさんあると外国人も分かりやすいし、助けを借りなくても何をすればいいかわかります。

用意したもの

- ・ワークシート
- ・避難所のビデオ
- ・プロジェクター
- ・非常用テント
- ・簡易トイレ
- ・毛布
- ・A3用紙
- ・避難所名簿(多言語版)

### 活動 3

## 学んだことを発表する

1. 「地震発生から避難所まで」と「避難所」別に学習したことを話しました。
2. 災害に関する言葉を簡単にしてみました。
3. 災害時に外国人が役に立てることを紙に書きました。
4. グループ別に前に立って発表しました。



用意したもの

- ・前々回、前回のワークシート
- ・A3用紙
- ・ペン



学習者からこんな日本語ができました

- ☆日本語のわからない友達を避難所に連れて行きます。
- ☆避難所で困っている人の通訳をします。
- ☆避難所にある貼り紙の日本語を読んで通訳するのは難しいです。ふりがながあるといいです。

### 活動 4

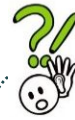
## 活動の成果と今後の目標をつくらう

1. 全6回分の防災のCan-do statementsをみて、その項目以外でできるようになったこと、できるようになるといいと思うことを話しました。
2. Can-do項目を作って紙に書き、「書く」「読む」「聞く」「話」「やりとり」を技能別に壁に貼り出しました。
3. ワークシートに書きだし、5段階自己評価を付けたり、今後の目標を作りました。
4. 市や町内会への要望を紙に書いて発表しました。



用意したもの

- ・前々回、前回のワークシート
- ・A3用紙
- ・ペン



学習者からこんな日本語ができました

- ☆避難所の申込書の書き方を教えてあげます。
- ☆自分より日本語能力の高い人が作ったCan-do statementsは勉強になります。
- ☆実際に災害ボランティアをしてみたいです。

この教室では、毎回の活動の最初と最後に、「前回の復習」と「自己評価」を行いました。その内容は、次のとおりです。

## 確認

## 宿題シート

授業の最初： 前回学んだ内容をふりかえります。  
 授業の最後： 活動の中で学んだ言葉を3つ選び、次回までの自主学習に活用します。



## 確認

## 自己評価 日本語でできるかな？

1. 各授業ごとに達成してほしい項目を「Can-do statements」を活用したチェックリストにして、5段階で自己評価しました。
2. 授業前には学習者の現在のレベルを図り、授業後には授業を受けてどの程度内容を理解したかを自己評価しました。

防災②		
0. 宿題シートを見て下さい。前回勉強したことを ボランティアさんと 話しましょう。		
1. 日本語で できますか？		
		できる——できない
01	災害時に 身近な 外国人の 状況を 日本人リーダーに 伝えることができる	1-2-3-4-5
02	日本語で 書かれた 災害の情報を 理解し、外国人に 伝えることができる。	1-2-3-4-5
03	配給物資に関する 張り紙を読み、配給の開始時間や 物資の名前等が分かる。	1-2-3-4-5
04	日本語で書かれた 注意表記などを見て、避難所生活の ルールが 理解できる。	1-2-3-4-5
05	避難所で、日本人リーダーの 指示を 聞き取ることができる	1-2-3-4-5
2. ピクチャを見て下さい。		
3. 防災危機管理課の 職員さんの 話を 聞きましょう。 避難所を本として生活できる場所にするために、どんな人が協力しているが知りましょう。私たちが何の人もと一緒にできることは何か考えてみましょう。		
4. 私たちが避難所生活で気を付けることを知りましょう。外国人にしか できないことで、やってほしいことを 知りましょう。また 一緒に できることを 聞いてみましょう。		



学習者からこんな  
日本語ができました

☆前の授業に勉強したことをもう一度説明すると、日本語が上手になります。  
 ☆難しい専門用語を復習できます。



学習者からこんな  
日本語ができました

☆難しいことばもあるけど、日本語の勉強にもなるし、自分のレベルがわかって便利です。

## 実践を終えて ～ボランティアの感想 & 大切だと思ったこと～

- ◇ 私たちが思っている以上に、難しい言葉を理解して勉強したいという意欲があつてすごい!
- ◇ 避難者名簿を書くときに、「世帯主」という日本文化的な考え方が分からなくて説明が必要だった。
- ◇ 学習者自身が、地震が起きた時に周りの人をどう助けるかという視点が日本人よりもよく考えていると感じた。
- ◇ 学習者から出た要望を市や町内会に提案できるといいと思った。
- ◇ 言葉を与えることはせず、引き出す姿勢が大切だと思った。
- ◇ 日本語で書かれていて理解しづらいのではと思ったが、思いの他手間取らずにできていてびっくりした。
- ◇ 言葉の不自由さを克服して、人の役に立ちたい外国人が想像以上に多いことがわかった。  
既定のレベルに達していない学習者も、支援者になるための授業を受けたがっていた。
- ◇ 学習者自身に、今の時点で支援できること・今後なりたい目標を考え発表してもらうことで、授業後も自主的に学ぶ姿勢をつくることができた。
- ◇ 支援者になるための授業なので、日本人が普段読む資料を使用した。しかし、やさしい日本語を使った資料をもう少し使い、学習者の負担と意欲を促すようにする必要があった。



### 大切だと思ったこと

- 学習者の学びたいことと活動内容が合致すると継続的に参加してくれる。
- 日本人が教える立場に回る必要はない。一緒に学びあう姿勢が大切。
- 行動・体験に重きを置くのではなく、その後何を学んだか学習者自身がふりかえる時間をとることで学んだ日本語が定着する。積極的に話してもらい自身の言葉で発表してもらうことが大切。

教室名	実践活動テーマ	ページ	教室開催日時	開催場所
いろは日本語の会	目的地に行こう	6	木曜日 10:30～12:00	名古屋市中区
ことばの会	地震について知ろう	44	水曜日・金曜日 10:00～11:30	名古屋市中区
プラザにほん語教室	自転車のルールを知ろう	10	火曜日 13:30～15:00	名古屋市中区
	ハローワークへ行ってみよう	32	金曜日 13:30～15:00	
	買いものをしよう	18	金曜日 19:00～20:30	
	日本の銀行のATMをうまく使おう	28	土曜日 10:30～12:00	
	地震時の緊急対応	40	土曜日 14:00～15:30	
Vivaおかざき!!	災害時に支援者になろう	48	日曜日 15:00～17:00	岡崎市
KIFA日本語支援 グループ	病気になったらどうしますか?	36	木曜日 10:00～11:30 土曜日 19:00～20:30	刈谷市
	チラシを見て買い物をしよう	22	日曜日 10:00～11:30	
日本語教室 おしゃべりひろば	買い物に行きましょう	14	日曜日 10:00～11:30	愛西市

## 第3章

# 活動案とポスター



1日目:10月8日(木) 10:20~12:00 (100分)			
活動1 85分	目的地に行こう! 地図を見たり道を尋ねて、目的地に行く	1 学習者(2~3人)とスタッフ(1人)のグループで街に出かける。 2 地図で現在地と目的地を確認する。 3 通行人や店員などに話しかけ、道を尋ねる。 4 関心のあることを尋ねて写真を撮る。	・タウンマップ ・目的地を示した指示書 ・デジタルカメラ ・スタッフ用指示書
活動2 15分	記憶に残そう! 今日の行動をふりかえり、グループで共有する	1 今日の活動を思い出してグループで話す。 2 ワークシートに記入する。	・ふりかえりシート ・スタッフ用ふりかえりシート
2日目:10月15日(木) 10:30~12:00 (90分)			
活動3 35分	体験を言葉にしよう! 1日目の活動を思い出し、他のグループと共有する	1 1日目の写真をスライドショーで見る。 ・自分の活動を思い出すと共に、写真ダイジェストを交換して他のグループの活動を知る。 2 写真を見ながら自分の体験を言葉にする。 3 他のグループに自分の体験を話し、お互いに質問し合う。	プロジェクター ・スライドショー ・パソコン ・写真ダイジェスト
活動4 45分	体験をみんなに話そう! 全員の前で発表する	1 みんなに話したいテーマを決めて、体験を文章にする。 2 発表の練習をする。 3 全員の前で発表する。 4 他の人の発表を聞く。	・ワークシート ・プロジェクター ・各グループの写真
ふりかえり 10分	全体をふりかえる	・2日間の活動をふりかえり、グループメンバーやスタッフと話す。 ・ワークシートに感想を記入する	・ワークシート



# いろは日本語の会

## テーマ 目的地に行こう!

- 目標 ① 道をたずねることができる。  
② 地図を見ることができる。

参加者 学習者 (1日目) 14名 (2日目) 12名 ボラン (1日目) 11名 (2日目) 11名

私たちの教室はこんなところ

場所: 名古屋市市民活動推進センター  
(中区・ナディアパーク6F)

日時: 毎週木曜日 10:30~12:00

人数: 学習者約50名  
ボランティア約30名

特徴: レベルは初級  
『みんなの日本語』をベース  
レベル別に8グループ

### 1日目 地図を片手に目的地を目指す!

(100分)

目的地を地図で  
確認して、出発~!!

道をたくさん  
聞くことができました!

おくじょうの  
かんらんしゃは  
どこですか?

#### 目的地に到着

三越のビル  
屋上の観覧車

クリスタル広場

オアシス21

全グループが  
目的地に行けました😊

#### ふりがえり

- どこへ行きましたか。
- 何をしましたか。
- 何を話しましたか。
- これを見つけました。

### 2日目 ふりがえり~自分の体験を言葉にしてみんなに話す~

(90分)

#### 活動の流れ

- ① プロジェクターで先週の活動を思い出し、共有。
- ② グループで話す。
- ③ 隣のグループと話す。質問しあう。
- ④ 話すテーマ決め。スピーチ内容考える。
- ⑤ 体験をみんなに話す。→右へ
- ⑥ ふりがえり。

先週の活動が  
素材です!

オアシス21でたくさんの  
ひとがならんでいました。  
なぜならんでいるのか?  
きました。おかしのくりさんと  
をかうためにならんでいました。

ノリタケのかんばんを  
みつけました。スリランカ  
にもノリタケがあります。  
なつかしいです。

オアシス21で  
のうぎょうこうこうの  
がくせいとはなしました。

みんな  
自分の体験を  
しっかり話すことが

いちばんさいしょに  
きいたひとはわるい  
かんじだったです。  
ばしょはおしえてくれな  
かった。かえりかた。  
にはんめひとは  
やさしかった。すぐおしえて  
くれた。かえらとらいた  
のでうれしかった。

せんしゅうはいっぱい  
あるいた。つかれた。でもせんせい  
やさしいから。あるいてるときは  
いっぱいはなした。だから、じかん  
わからなかった。つかれたでも  
たのしかったです。

1日目:10月13日(火) 13:30~15:00 (90分)			
活動1 60分	日本の自転車の交通ルールを知る  自転車の交通ルールに関心を持つ	1.イラストや道路標識図を使って「自転車」「歩行者」「車道」「歩道」「横断歩道」「二人乗り」などの言葉の説明する。 2.“知っていますか?”と道路標識図を見せて意味を確認する。	○各国語対応イラスト付き資料 ○パンフレット(自転車安全教室) ○ワークシート(DVDに出てくる言葉)
活動2 30分	こんな時はどうするの? ぶりかえり	おまわりさんに聞こう!	
2日目:10月20日(火) 13:30~15:00 (90分)			
活動3 15分	協力者紹介/学習者自己紹介 協力者紹介 学習者自己紹介	学習者の母語で「こんにちは」名前と国籍	○学習者用名前シール ○ボランティア名札
活動4 60分	交通課警察官による講習を受ける 正しい自転車の交通ルールの理解	1.自転車のルールの解説を聞く。 2.DVDを見る。 3.実際の事故と賠償裁判の事例を聞く。	○5か国語対応のチラシ(警察署) ○DVD(警察署) ○プロジェクター(AIA)
活動5 15分	おまわりさんに聞きました内容の確認・ぶりかえり	1.学習者からの質問に答える。 2.ワークシートを見ながらボランティアと内容確認する。	○ワークシート
3日目:10月27日(火) 13:30~15:00 (90分)			
活動6 90分	あなたの国ではどうですか? 安全な自転車走行をめざす	1 二日目のワークシートを見ながらぶりかえりシートを作成する。 2 出身国との違いを知る。 3 安全な自転車走行について各家庭でも話をするよう促す。	○二日目記入のワークシート ○ぶりかえりシート



# 自転車の交通ルールを知ろう



## 目標

2015年6月1日から施行された道路交通法の改正で、自転車の交通ルール違反者への罰が厳格化されました。学習者の多くが自転車を利用しています。正しい交通ルールを知り、自転車を安全に乗るためにどうしたらいいか一緒に考えます。



## あいち国際プラザにほん語教室 火曜日クラス

場所: あいち国際プラザ 名古屋市中区三の丸2-6-1  
日時: 火曜日 13:30~15:00  
学習者: 名古屋市及びその近郊で生活する外国人  
中国、韓国、台湾、ベトナム、フィリピン、ミャンマー、タイ、アメリカ

## 活動1 (1日目) 90分

資料を使って事前学習をしました



- 1) 各国語対応資料  
「新しい自転車のルールを守りましょう!」
- 2) イラスト付きパンフレット  
「交通安全教室」
- 3) ワークシート  
二日目の活動で使うDVDに出てくる言葉

Q1: 「さすべえ」っていいの?  
Q2: 横断歩道を通る時  
自転車で来たまま渡ってもいいの?  
Q3: 自転車で道路の右側? 左側?



## 活動2 (2日目) 90分

中警察交通課による出張講座です

- 1) 学習者は自己紹介をしました  
母語で「こんにちは」そして名前
- 2) DVD (16分) 自転車で走った少年が急いでサッカーの試合に行く途中、歩行者と事故を起こすという内容
- 3) 警察官から実際の事故と賠償裁判の事例の説明を聞きました。
- 4) 学習者からの質問に答えてもらいました



Q1: 損害賠償金の違いは  
どこから来るの?  
Q2: アルコールは絶対ダメなの?  
Q3: 「さすべえ」は違反なの?

- 《学習者のひとこと》
- ★ 自転車に乗る時は左側。
  - ★ 夜はライトをつける。
  - ★ メガネをかけて飲酒体験をした。飲酒後の危険がよくわかった。
  - ★ 損害賠償金が高い。
  - ★ 二人乗りはダメ。
  - ★ ベルは鳴らさない。
  - ★ 規則をみんなが守ったら事故にならない。
  - ★ 今まで知らなかったことを聞いて参考になった。
  - ★ これからも気を付ける。
  - ★ けいさつさん、やさしい。

比べてみました

## 活動3 (3日目) 90分

あなたの国ではどうですか

- 1) 学習者に聞いてみました  
「あなたの国ではどうですか」
- 2) 「ありがとう」を伝えましょう  
学習者に母国語、日本語で書いてもらいました。



### 《学習者からのありがとう》

- ▶ 日本語がわからない学習者にも優しい言葉で説明してくれてありがとう。(韓国 男性)
- ▶ ビデオを見てルールがわかって安心しました。(フィリピン 女性)
- ▶ 先週の交通規則の講義でさらに多くの交通規則を知りました。私たちにとって日本でさらに便利な生活になって不便が減ります。(中国 女性)
- ▶ 日本に来てから自転車ルールがあるなんてびっくりしました。でもこれから日本のルールを必ず守ります。(マレーシア 男性)
- ▶ 自転車は自分にとって便利なものです。これからはより安全に生活できます。とても有意義でした。(中国 女)

### 《ボランティアの感想》

- テーマが大変身近な問題だったので学習者もボランティアも熱心に取り組むことができた。
- 実際に警察の方の話を聞くことができたので、学習者の印象に残る日本語学習になったと思う。
- 交通ルールは案外難しかった。
- 自転車の交通ルールをもう一度見直すことができた。
- 学習者は教室以外の日本語に接することができた。
- 来日して間もない学習者には映像の力が大きかった。

	日本	中国	台湾	フィリピン	ミャンマー	ベトナム	マレーシア
車道左側通行	左	右	右	右	右	右	左
二人乗り	X	O	O	O	X	X	X
夜間走行	X	O	O	O	X	O	X
傘さし運転	X	O	O	O	X	O	X
携帯電話	X	わからない	O	わからない	X	O	X
イヤホン	X	わからない	X	O	X	X	X
飲酒運転	X	O	O	O	X	O	X
飲酒運転	X	O	O	O	X	O	X
飲酒運転	X	X	X	O	X	O	X
飲酒運転	X	X	X	わからない	O	O	X
13歳以下ヘルメット着用	O	X	X	X	X	O	X

1日目:9月6日(日) 10:00~11:30(90分)			
活動1 60分	チラシについて話し合う	1 学習者の国のチラシと比較する。 2 物の価格、価格の比較、興味のある物について話し合う。 3 チラシからイメージして購入をシミュレーションする。 4 自分の生活にあった物を正しく購入できるかどうか検討し、ほしい物を2,3決める。それをなぜ選んだのか話し合う。 5 チラシの中のわからない言葉や難しい言葉を理解する。	折り込みチラシ
ふりかえり 30分	みんなで今日学習したことを話し合う。	チラシは見たことはあるが今まであまり利用してなかった。	ふりかえりシート
2日目:9月20日(日) 10:00~11:30(90分)			
活動2 10分	チラシを理解する	1 ほしい物を2,3決め、それを選んだ理由を話し合う。 2 欲しい物のチラシを選び、チラシの中の語句について話し合う。 3 日本語独特の表現(タイムサービス、特価、限定、限りなど)を理解する。	○擬似店を配置 ○食品スーパー ドラッグストア 電化ストア ホームセンター 服飾店などのチラシを置く
活動3 25分	チラシを使って尋ね、購入することができる	1 自分の求めている物がその店にあるかどうかを知る。 2 店員(ボランティア)に商品について尋ねる。日本語でそれを表現できるかどうか。 3 ほしい物を擬似お金で購入する。	○擬似日本円 ○擬似店舗の立て札 ○店舗ごとにチラシを配置
活動4 25分	購入した物を説明することができる	1 ほしい物が購入できたかどうかボランティアと話し合う。 2 購入した物について話し合う。 3 自国の商品との違いについて話し合う 購入した物についてきちんと説明できるかどうか。	
活動5 20分	体験したことを伝えることができる	1 今日の学習で体験したことを伝え合う。	
ふりかえり 10分	みんなで伝え合う	わからない言葉や難しい言葉はなかったかなど、問題をボランティアと話し合い、ふりかえりシートに記入する。	ふりかえりシート
3日目:9月27日(日) 10:00~11:30(90分)			
ふりかえり 60分	できたことを伝える	みんなで伝え合う 1 チラシを理解することができたか話し合う。 2 チラシを使って尋ねることができたか話し合う。 3 体験を伝え合うことができたか話し合う。	ふりかえりシート

# 〈買い物に行きましょう〉～チラシを理解し ほしい物が購入できる～

愛西市日本語教室おしゃべりひろば

〈場所〉愛西市文化会館  
第1.3.4日曜日 10:00~11:30(年間30回)

〈学習者の国籍〉中国・インドネシア・タイ・モンゴル

## 〈テーマ決めの経緯〉

生活する上で日常生活用品を  
購入できるようになることは、とても  
重要でありチラシという情報を活用し、  
スーパー・電化ストア・ドラッグストアなどで、  
より品質の良い、価格を考慮した買い物か  
出来るようにサポートしたい。



## 〈1回目〉 9/6 (60分)

チラシを準備し、チラシを見ながら  
物の価格・価格の比較・興味のある  
ものについて話し合い、わからない  
言葉などを理解してもらう。



## 〈2回目〉 9/20

～店づくり～

- ★教室で机と立て札を配置し疑似店を作る。
- ★1回目で学習者の知る店が幅広かったため  
今回は色々な店舗のチラシを調達した。



## ～実践スタート～ (90分)



- ★それぞれ気になるチラシを取りに行く。



- ★チラシを見て気になる事やわからない事を  
ボランティアと話し合う。
- ★疑似店にチラシと紙のお金を持って買い物に行く。
- ★ボランティアが店員になり学習者が商品について  
質問したり購入したりした。



- ★一人一人がスーパー・ドラッグストア・電化ストア  
いくつものチラシを手にしリアリティあふれる  
時間を過ごした。



## 〈工夫した事〉

チラシの欲しい物を指さして  
「コレ下さい」で終わるのではなく  
店員(ボランティア)が「～ですね」と商品の  
名前を言ったり、何々ですか、サイズは  
何ですかと問いかけ沢山会話が  
出来るようにした。

## 〈3回目〉～ふりかえり～ 9/27 (60分)

ふりかえりシートを使い体験を終えてわからなかった言葉や  
難しかった事、知らなかったが体験を通してわかった事などを  
ボランティアと話し合い学習者に発表してもらう。



## 〈学習者がわからなかった言葉・難しかった事〉

ブロードバンド・タイムサービス・税込み  
～限り・限定・超目玉・まとめ買い・抽選  
物の教え方・日本円の支払い方

## 〈参加者の声〉

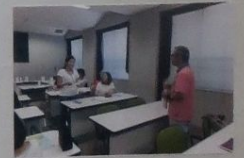
- ★学習のねらい毎に時間を  
決めたのがよかった。
- ★もう少し疑似店にリアルさが  
あってもよい。
- ★楽しかっただけで終わらせず  
今日の体験が次の教室運営に  
つながるとよい。

## 〈担当者の所感〉

- ★体験に参加する学習者の数が  
多く活気があった。
- ★学習者から、体験により商品の  
使い方を知り実際に購入した事を  
聞き学習者に得るものがあたと  
実感できた。

## 〈今後の課題〉

- ★学習者には良くわかるやさしい日本語で。
- ★学習者の発話を促す言葉がけを。
- ★身近な生活にすぐ使える日本語を。



1日目:9月25日(金) 19:00~20:30 (90分)			
活動1 45分	買い物の意味	いつもどこで買い物をするか話し合う。 日本ではどこで買うか 自国ではどこで買うか	日用品 文房具等 実物提示
活動2 45分	優良品の見つけ方	今使っている文房具をどこで買ったか 話し合う。 学習者と一緒に買い物に行けないの で、各自、次回までに、ノート・ボールペ ンの値段を調べてくる。	
2日目:10月2日(金) 19:00~20:30 (90分)			
活動3 45分	見学してきた文具売り 場の発表	見学してきた文具について話し合う。 文具を見つける時間は? すぐ見つけることができたか? 値段は?	前回の実物
活動4 45分	自国の売り場の発表	自国の文具売り場と比べ、類似点・相 違点を話し合う。	

# 買いものをしよう

あいち国際プラザ  
日本語教室 金夜クラス

教室はこんなところ

場所: あいち国際プラザ

日時: 金曜日夜クラス 午後7:00~8:30

1回目

活動1 これは何?

- ① サンプルを見て、使用目的によって使いわけることを知る。
- ② 手紙を出すとき、郵便番号を書くことを知る。

活動2 優良品の見つけ方

- ① 100円ショップで色々なものが買える。
- ② 安いものと安物はちがうことを知る。



現在 5人が参加

2回目

活動1 お店の様子発表

- ・ドンキホーテは、品物がたくさんならんでいた。
- ・タブレットを買った。国では1.5倍します。店を3軒まわって、ビッグカメラで買いました。

活動2 自国の店の様子発表

- ・似ている所もあるし、似てない所もある。
- ・国は品物が少ない。



ふりかえり

- ・買いものをしようの学習は役に立った。
- ・積極的に買いものをしたい。
- ・おもしろかった。
- ・おもしろかった。教室全体ですることにはできないか。
- ・おもしろかった。

1日目：9月19日(土) 19:00～20:30 (90分)			
活動1 20分	チラシを見て、欲しい物を話しましょう チラシの役割がわかる	①色々なチラシを見て、チラシについて知っていることを話し合う。 ②母国のチラシについて話し合う。	・スーパー、ホームセンター ドラッグストアなどのチラシ ・ワークシート
活動2 20分	チラシを見て、欲しい物を話しましょう チラシの中から欲しい物を選び理由を話すことができる	①好きなチラシを見ながら欲しい物を選ぶ。 ②欲しい物と選んだ理由を話す。 ③相手をかえて話す。	・色々なチラシ ・付箋 ・ワークシート
活動3 20分	買う物を決めましょう チラシを使って、買う物を決めることができる	①買う物をチラシの中からさがし、付箋に書く。 ②チラシの中にないが、買いたい物を付箋に書く。 ③買い物リストを作る。 ④買い物の時に、お店の人に質問することを話し合う。	・買い物に行くお店のチラシ ・ワークシート
活動4 15分	買い物の時に質問したり、お願いすることを練習しましょう 分からないことを尋ねることができる	①学習者が客、ボランティアが店員になって、分からないことを質問する練習をする。 ②相手をかえて練習する。	・ロールプレイ指示カード ・店内商品配置図 ・領収書見本
活動5 15分	ふりかえり	今日の学習で、わかったこと、わからなかったこと、できたこと、できなかったことをふり返しシートに記入し発表する。	○ ふり返しシート
2日目：9月20日(日) 10:00～11:30 (90分)			
活動6 60分	お店で買い物しましょう チラシと買い物リストを使って買い物ができる	①買い物の分担を決める。 ②お店の人にわからないことを質問する。 ③お店に売っているもので、お得なものをさがす。 ④欲しいものを買う。 ⑤領収証を書いてもらう。	・ 買い物リスト ・ スギ薬局のチラシ
活動7 30分	ふりかえり	①買った物を紹介する。 ②お店の人と話したことを発表する。 ③買い物で、お得だったことを発表する。 ④わかったこと、わからなかったこと、できたこと、できなかったことをふり返しシートに記入する。 ⑤買い物リストに、買った値段を記入する。	・ ふり返しシート
3日目：9月27日(日) 13:00～15:00 (120分)			
活動8 120分	刈谷市グローバルカレッジと日本語教室合同バーベキュー会に参加しよう 一部の材料を準備したBBQ会に参加することで協働の意識を高めることができる	①日本人と一緒に、火おこしや材料を準備をした後グループに分かれバーベキューをする。 ②食べ終わった後は、みんなで片づけをする。	・ 参加申込用紙 ・ 名札
4日目：10月24日(土) 19:00～20:30 (90分)			
活動9 90分	ふりかえり	①1日目から3日目の活動を、写真を見ながら、どんなことをしたか、どんなことを話したかふりかえる。 ②写真を台紙に並べて、その時の活動を付箋に書く。	・ 1日目から3日に参加した時の写真 ・ 写真添付用台紙と付箋
活動10	お礼状を書こう 協力者への御礼ができる	2日目の協力店舗へお礼の寄せ書きをする。	・ 協力店舗へのお礼用色紙



# テーマ：チラシを見て買物をしよう！

KIFAV  
日本語支援グループ

## 教室の概要

場所：刈谷市国際交流プラザ 日時：木・日 10:00~11:30 土 19:00~20:30  
活動力：「みんなの日本語」を主テキストにした日本語学習，学習者とボランティアとの交流イベント

- [目標] チラシの見方がわかり欲しい物を事前に調べて買物することができる  
[テーマ決め経緯] 事前情報を得たり、お店の人に尋ねながら買物した経験がないバーベキュー会があり、その時に必要なものの買い出しを実習の場にできる  
[日程] 9/19.20.27 10/24 [参加者] タイ・フィリピン・ガジル・バトナム人の研修生・生活者

### ■活動力1：チラシについて知る

チラシについて知っていることを話し合った



「日本でチラシを見たことはありません」  
「チラシで安いものみませう」

### ■活動力2：チラシから情報を得る

欲しいものを選んで理由を説明した



「お得なことは“割引”です」  
「毎日使いますから」

### ■活動力3：買う物を決める

バーベキューに必要なものを探して決めた



買物リスト  
「火をつけます。チーブ？ジュル？何ですか？」  
「着火剤と言います」

### ■活動力4：お店での買物の練習をする

わからないことを尋ねる会話練習をした



ロールプレイ  
「いつもはいくらですか？」  
「領収証がほしいです」

### ■活動力5：お店で買物をする

お店の人に質問しながら欲しいものを買って、レジで領収証を書いてもらった



「1本78円、6本で380円 お得でした」  
「おかしになります??？」  
「足がはれぼったい」

### ■活動力6：買ったものを使う

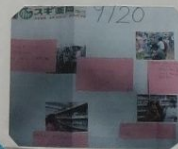
自分たちの買ったものでバーベキューに参加した



「フィリピンのバーベキューはエビが多いです」  
「バトナムはニンニクも焼く」  
「味付けはタイはもっと辛い」  
「ビールがほいいます」

### ■活動力7：活動力をふりかえる

活動の写真や成果物を見ながらどんな日本語を使ったかを書きだして話した  
協力してくれたお店へお礼の寄せ書きを作った



寄せ書き  
「お店の人は優しいです」  
「安い水を教えてくれてありがとうございます」  
「日本語の練習しました」

「くすりを紹介してくれました。足がなりました」  
「楽しいことがいっぱいでした」  
「日本人とたくさん話しました」



### 《コーディネーター・ボランティアの感想》

学習者にとって日々の生活に直結する良い活動である。継続しながら活動テーマを増やしていく。実践の場が重要であるが、地域の協力を得るには、協会や市役所の協力体制も必要である。負担感の少ない工夫により、実践的な日本語を学べる教室運営に役立てていきたい。

1日目: 10月10日(土) 10:30~12:00 (90分)			
活動1 25分	日本の銀行ATMを使ったことがありますか? 銀行ATMについて基本知識を知る・他の人に日本語で説明できる	1 日本の銀行ATMを使ったことがあるか? 銀行口座をもっているか?学習者から挙手・発表してもらう 2 日本のATMをどのように活用しているのかを学習者に説明してもらう	・スライド ・ワークシート
活動2 65分	銀行の方の話を聞こう 銀行のATM活用方法について知る	1 セブン銀行の方から、ATMの使い方や活用方法について説明してもらう 2 分からなかった言葉をグループで話合う 3 どんな言葉がわからなかったか、全体で発表する 4 できたことや難しかったことをワークシートに記入し、伝え合う	・銀行パンフレット
2日目: 10月17日(土) 10:30~12:00 (90分)			
活動3 90分	銀行へ行ってみよう ATMの操作方法を知る・日本語で操作できる	1 前回でできた言葉について復習する 2 銀行へ行き、銀行の方の話をきく 3 実際にATMを使ってみる 4 銀行の方へ質問する 5 できたことや難しかったことをワークシートに記入し、伝え合う	・ワークシート
ふりかえり 90分		1 前回の内容をふりかえる 2 各グループで、ATMの使い方・活用方法のテーマを割り振り(海外送金・お金の出し方・手数料について等)、使い方を模造紙にまとめ、発表する 3 質疑応答をする 4 今後、銀行以外の活動で「もっとこんなことがしたい」をワークシートに記入し、グループで伝え合う	・ワークシート ・模造紙

# 日本の銀行のATMをうまく使おう

栄セブン銀行に行きました



WITH DRAWAL  
お引き出し

残高照会  
BALANCE INQUIRY

DEPOSIT  
お預け入れ

通帳記入・繰越  
BOOK OF ENTRY / OVER-DRAW

お振り込み

税金各種  
料金振込

MY CARD  
マイカード

CREDIT CARD  
クレジットカード

カードの  
暗証番号変更

宝くじ購入



お金が  
でてきた!



日本語



中国語



英語



1日目:10月2日(金) 13:30~15:00(90分)			
活動1 65分	ハローワークってこんなところ ハローワークがどんな所かイメージをつかむ	1 ハローワークの説明(30分)鵜飼司郎氏 2 ワークシートに記入 3 学習者発表 *今までにどんな仕事をしたか *今仕事に就いているか *資格の有無 *どんな仕事が見たいか 4 職員の方との会話挨拶、マナー等確認	・ホワイトボード ・ハローワーク説明用レジュメ ・ワークシート (案内ちらし・写真)
活動2 20分	どうやって行くの 公共施設や交通手段の利用方法を知る	1 実際に行く方法 2 所要時間を確認 *AIA集合組 現地集合組	・市内地図
ふりかえり	ふりかえり	次週までの課題を把握する 1 初めて知ったこと 2 興味をもったこと	・ふりかえりシート
2日目:10月9日(金) 13:30(現地13:45)~15:10(100分)			
活動3 30分	オリヴェイラさんから説明 ハローワークを実際に利用してみる	1 労働資格 2 外国語の求人ファイル、ホームページにも求人票有り 3 日本語能力の求められる仕事は日本語での表記 4 職業訓練 5 希望の仕事が見つかったら窓口で相談 6 ファイルなどの利用方法、PC検索の確認	・求人ファイル ・各種パンフレット ・ワークシート
活動4 30分	パソコンを使ってホームページの検索をしてみよう パソコンで仕事を探す	1 必要事項の記入 2 希望に近い仕事を見つけることができるか	・パソコン ・ワークシート
ふりかえり 10分	ハローワークを利用した感想を話し合い、ふりかえりシートに記入する	1 わかったこと 2 良かったこと 3 出来た事 4 難しかったこと	・ふりかえりシート
3日目:10月16日(金) 13:30~15:00(90分)			
ふりかえり1 45分	2回の活動に参加した感想 第1,2回目のふりかえり	1 ふりかえりシートに書き込む 2 自分の言葉で発表する	・ワークシート ・ふりかえりシート ・1,2回目の写真 ・ホワイトボード
ふりかえり2 30分	礼状を書く オリヴェイラさんにお礼状を書く	1 好きな一筆箋を選ぶ 2 分からない漢字を積極的に調べる	・一筆箋 ・国語辞典
ふりかえり3	活動に参加した感想をクラスで発表 クラス全員の前で感想発表	1 ハローワークに行く前は どう思ったか 2 行ってみて どう思ったか 3 これから どうしたいか *要領良く発表するキーセンテンスを頭に入れて発表する	・ふりかえりシート ・写真

## ハローワークへ 行ってみよう !!

**目標** ハローワークへ行って仕事を探せる様にする

### AIA金曜午後クラスは こんなところ

**場所** AIA 2階 研修室 / 日時 毎週金曜日 午後1:30~3:00

**学習者** \*中国、フィリピン、アメリカ、ロシア、韓国、台湾  
ミャンマー、コロンビア、スペイン、タイ

\*配偶者が日本人、観光ビザで来日中、すでに職を持っている人など様々な背景の学習者がいるので、入門から上級まで学習者の希望に沿って学習をしている。

「なにかした 仕事、日本人の様に話したい  
漢字、読み書き・・・」

**教室の売りは?**

学習後のリラックス☺Tea Time☺  
日本語・母語交流「小さな社交場」



## テーマを決めました

仕事をしたいという学習者もいるという教室の学習者も多く、仲間と情報交換をしているようだから一歩進んで～

### “ハローワークで仕事をさがそう”



## 1日目 ハローワークって どんな所?

2015. 10.2(金) 13:30~15:00 90分 場所 :AIA

**学習者** 6名(台湾、ミャンマー、中国、コロンビア、スペイン)

背景・・・日本人配偶者、日本で仕事、日本語教師



みんなメモをとり  
真剣です !

講師からハローワークの説明をしてもらいました。

職探し、職業訓練、 (\* 講師・教室ボランティア)  
失業保険・・・何と、外国人窓口があるところも!

職  
種って?

詳しくつかめた!

次回ハローワークに行くために

会話、挨拶、マナーなど確認。  
地図で 交通手段・・・現地集合です。



## 2日目 ハローワークはこんなところ・・・でした。

2015. 10.9(金) 13:30~15:00 90分

場所 名古屋外国人雇用サービスセンター



職員・交流コーディネーターの  
オリヴェイラさんから説明

- ★労働資格
- ★求人ファイル(〇〇言語有)
- ★HPIにも求人票有
- ★職業訓練が受けられる  
など

- ←実際にPCを使ってみました
- ←日本語入力しています

ハローワークを利用した感想を振り返りシートに書いてみました。

自信が持てた  
ハローワークのことが良くわかった  
などなど

不安が解消  
みんな睡れやが～



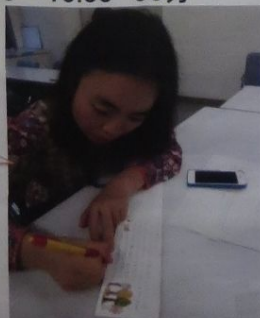
## 3日目 オリヴェイラの説明でハローワークのことが良くわかった

### 「お礼状を書こう!!」

2015. 10.16(金) 13:30~15:00 90分

場所 AIA

一筆箋に～～  
辞書を使い



12日目の振り返りシートを完成させて・・・

さあ、これから

活動に参加した感想の発表です。

### クラス全員の前で発表

- ♡ハローワークに行く前は
- ♡ハローワークに行って知ったこと
- ♡行ってよかった→みんなに勧めたい
- ♡一人でも行ける自信がついた

### 担当者からのコメント

・回を重ねることに興味がわき  
ハローワークで仕事見つけたい!

・教室での発表は・・・  
本人の自信につながり、  
他の学習者たちにも共有でき、

今後への取組につながっていくように感じた。



1日目:10月25日(日) 10:00~11:45(105分)			
活動1 50分	医師の話を聴こう 過去の経験から体の各名称を確認し、日本で病気になった時に備える	1 病気になった時の症状を伝える。 2 救急の時の医療機関と電話番号の確認。 3 医師から日本で病気になった時の注意事項を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体の部位の絵</li> <li>・ ワークシート</li> <li>・ ポストイット</li> <li>・ マジック</li> </ul>
活動2 40分	休日診療所へ行ってみよう 医療現場を見学する	1 診察申込書の書き方について 2 診療の流れについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシート</li> <li>・ 診察申込書</li> </ul>
活動3 15分	休日診療所ってどんなところ?見学したことを話し合う	医療現場で見聞きしたことを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診察申込書</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>
2日目:11月8日(日) 10:00~11:30(90分)			
活動4 45分	ふりかえり	1 前回の写真を見ながら、どんな会話をしたのか振り返る。 2 疑問に感じたことを話して、日本での医療をより身近なものと感じるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 写真 (医療現場を見学したとき)</li> <li>・ パソコン</li> <li>・ ワークシート</li> </ul>
45分	問診票の記載事項を理解する。	1 実際に診察申込書を記入する。 2 申込書の言葉について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診察申込書</li> </ul>
3日目:12月13日(日) 10:00~11:30(90分)			
活動5 90分	近くの病院について調べよう。 自分の近くの医療機関を知り、伝えることができる	1 刈谷市医療マップ・近隣市町村の医療マップで、医療機関を調べる。 2 自分が知り得た情報を伝える。 3 「無料医療相談会」の説明を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パソコン</li> </ul>



# 「病気になったら

# どうしますか？」



私たちの教室はこんなところ

場所：刈谷市国際プラザ

日時：木曜日 10：00～11：30

土曜日 19：00～20：30

日曜日 10：00～11：30



K I F A V

学習者の国籍

中国・台湾・ベトナム・ロシア

インドネシア・タイ・ネパール他

学習者のレベル

入門からN1まで

## 1日目

### ☆活動1



自分の国でまたは日本に来てから、病気になった経験を通して、体の各部位の名称を知ることが出来ました。

### ☆活動2



刈谷医師会休日診療所を訪問し、病院に来てからの流れや、診察申込書などについて話を聞きました。

### ☆活動3



見てきたことを話し合いました。日本の病院の清潔さやお医者さんのやさしさに驚かされました。

## 2日目



## 3日目

### ☆活動4



病院でのスライドを見ながら、分かったことや疑問に思ったことを話し合いました。他の市の人も行けるのかな？

### ☆活動5



診察申込書を実際に書いて、分かったことを話しました。麻疹・水疱瘡などが分かりました。

### ☆活動6



刈谷市国際交流協会主催の「健康相談会」の話を聞きました。レントゲンの意味が分かりました。

### ☆活動7



病院ナビで自分の家の近くにどんな病院があるか調べました。漢方医学と西洋医学についても話しました。

### 実践を終えて

言葉が思うように話せない国でも、学習者にとって病院に行くことは避けて通れないことだが、実際に病院に行ってみて、日本の病院の清潔さや病院の方々のやさしさに触れて、病院に行くハードルが下がったようです。今回は自分の思いだけでテーマを選んだが、今後は学習者のニーズを考えて活動していきたいと思います。

1日目:9月26日(土) 14:15~15:30 (75分)			
活動1 15分	<b>地震とは?</b> 地震について知る。	1地震とはどういうものを、学習者に説明する。 2地震の時の初期行動について説明する。	・教室の黒板に地震についての言葉や情報を書く
活動2 15分  45分	身の守りかた 地震が来たときの避難の体験。  まとめとふりかえり	1机の下に入り、体や頭部を守る。かばんや本などで、頭を覆う(各自で安全確保) 2揺れが収まったら、ボランティアは建物の安全な場所に学習者を避難誘導する。(プラザロビーへ移動) 3教室に戻って、各グループで地震についての感想や心構えなどを話す。	・ボランティアは避難誘導と学習者の人数確認・リーダーに報告することを、事前打合わせする
2日目:10月31日(土) 14:15~15:30 (75分)			
活動3 15分	<b>なぜ防災用品が必要か?</b> 地震が来たとき、なぜ防災用品が必要かを学ぶ。	1.地震が起こった後、ライフラインが破壊された社会の様子を学習者に想像させる。 2.自分の生活には、どんなものが必要かを気づかせる。	・防災用品をボランティアが持ち寄る
活動4 30分	<b>防災用品とは?</b> 防災用品にはどんなものがあるかを学ぶ。	1使い方などを織り交ぜて説明する。 2グループに分かれて、話し合う。 3非常食を試食する。	
ふりかえり 45分	まとめ ふりかえり	1学習者1人1人が、どうしたら命が守れるかということを考えるきっかけとなった。 2防災用品の必要性と、学習者個々に取って必要な物は何かを考えてもらう機会となった。	



# 土曜日午後クラス

## 地震時の緊急対応

### (命の安全確保)の体験

身体を守る!!



- ① 自分の命を守る
- ② 家族の命を守る
- ③ 隣人を助ける



あ、地震だ!!

命さえあれば何事もできる!!!!!!

頭を守る!!  
身近にある何かで



何が入っているか興味津々  
日本人はどんな物を  
用意しているんだろう?



備えよ!!



物の準備・心の準備



自分にとって何が大事な物?!  
一人一人違っていい!!



振り返えり




自分達でも出来そう!!と笑顔。  
やっ

1日目: 9月30日 (水) 10:00~10:30 (30分)			
活動2 25分	世界にどんな自然災害があるか、状況をイメージする	1.前の時間にわかったことを話す 2.災害の写真を見て、感じたことや考えたことを発表する 3.実際に経験した災害があれば話す	・台風関連の写真(衛星写真・台風予報円・土砂崩れ・暴風等) ・ホワイトボード
ふりかえり 5分	いろいろな自然災害をイメージする ふりかえりをする		・自然災害の写真(干ばつ・噴火・火山灰など) ・ふりかえりシート
2日目 10月7日 (水) 10:00~10:30 (30分)			
活動3 30分	大きな地震ではどんなことが起こるか考える 大きな地震の怖さをイメージする	1 前回のふりかえり 2 地震の後に起きること *家事・津波・倒壊 3 地震が起きてても、ちゃんと復興していくことを確認する 4 復興させるには、自分が元気に生きていなければならないことを確認する	台風・災害関連の写真(前回ふりかえり用) ホワイトボード 1995.1.17 2011.03.11 両大震災の写真 地震直後の写真と復興後の写真 ふりかえりシート
ふりかえり 10分	ふりかえりをする		
3日目 10月14日 (水) 10:00~10:30 (30分)			
活動4 25分	地震の時に聞く言葉を聞いてみる 地震の時に聞く言葉を確認する	前回のふりかえり 緊急地震速報をよく聞いて、その中の言葉を取り出してみる 他に地震の時によく耳に入る言葉 エレベーターの中で起きたらどうする 外を歩いている時はどうする	地震関連の写真(前回のふりかえり用) 言葉メモ 緊急地震速報の音源 携帯用地震速報の音源 初級用のイラスト 地震時の行動イラスト 写真(エレベーターボタン) ふりかえりシート
ふりかえり 5分	外出中に地震がおきたらどうするか確認する	聞き取った速報を発表する	
4日目 10月21日 (水) 10:00~11:30 (90分)			
活動5 25分	講座『地震がおきたらどうしますか』ポラネットなか 地震が起きた時どうするかを確認する	1.地震の動画を見て怖さを感じとる 2.スライドを見て、地震が起きる前と起きた後で、自分ができていることを考える  震災時、身近なもので役立つ物を作る 1.支援者と一緒に『ゴミ袋でカッパ』を作る 2.支援者と一緒に『キッチンペーパーでマスク』を作る	・ふりかえり・書きこみシート ・ふりかえりシート説明用イラスト ・プロジェクター(ポラネット) ・スクリーン ・ホワイトボード ・名札(学習者用・支援者用) ・資料(学習者用・支援者用/NIC『地震がおきたらどうしますか』) ・マイク ・見学者用説明書 ・教室ボランティア用説明書 ・ハサミ ・輪ゴム(ポラネット) ・キッチンペーパー(ポラネット)
ふりかえり 5分	講座を受けてわかったことをふりかえりシートに記入する ふりかえりをする	1わからないことをポラネットの人に質問して確認する 2防災グッズを作った感想を書く	ふりかえりシート
5日目 10月28日 (水) 10:00~11:30 (90分)			
活動7	地震が起きる前にすること、起きた後ですることをカードで分けてみよう! ふりかえり	支援者と一緒に今までの事を思い出しながら地震の前と後にすることをイラストカードで分ける 分け終わったものをホワイトボードに貼って、皆で共有し、確認する 自分だけの非常持出袋を作ろう! 支援者と一緒に自分が入れたい物をイラストカードから選んで、自分用の非常持出袋を作る	・地震が起きる前にすることカード(イラストカード) ・地震が起きた後にすることカード(イラストカード) ・非常持出袋(紙製) ・非常持出袋に入れるカード(イラストカード) ・ふりかえりシート


# ことばの会 地震(自然災害)について知ろう!!

**活動1日目** 90分  
大雨になたらどうする?




自分の国での台風や大雨の話をしよう。  
こうなるよ、増水を確認しました。

**活動2日目** 30分  
自然災害をイメージしよう!




教室が休みになる場合も勉強ほぼ。  
暴風・洪水・土砂崩れなど写真を見て災害を知ろう

**活動3日目** 30分  
大きな地震の怖さを知ろう




大きな地震ではどんな事が起こるか考えよう。  
地震が起きても復興していくことを確認しました。

**活動5日目** 90分  
NIC (国際協力) 出張講座  
災害ボランティアなか 講座II  
「じしんがおきたらどうするか」



NIC『地震がおきたらどうするか』をもとにスライドを見ながら、ボラネットの話を聞き地震が起きる前と後で、それぞれ自分が出来ることを考えました。


**活動4日目** 30分  
地震の時に聞く言葉を聞いて




緊急地震速報を聞いて、聞いた言葉をみんなで考えよう。  
家の中や外出中に起きたらどうするかを話し合いました。

**II 災害時、身近にあるもので役立つ物を作ろう**


ゴミ袋でカップを作ろう / キッチンペーパーでマスクを作ろう



どちらも支援者と協力。相談しながら、楽しくカップ・マスクを作りました。  
真剣です。




支援者が悩んでるのを見せてあげよう。  
あ、小さいけどうま出来ました!!




上には出来てご満悦です。

**III ふりかえり**



わからなかったことボラネットの人に聞いて確認しました。

例1) 子どもがいる場合どうしたらいい?  
例2) 救急車で送りたいのに、けがしたらどうしたらいい?




**活動6日目** 90分  
ふりかえり

① 支援者と一緒に地震が起きる前にあること、起きた後にすることをカードで分けてみよう。

お	あ
お	あ
お	あ
お	あ


みんなが作ったカードを交換しよう。

② 支援者の人と一緒に自分が入りたい物(カード)を選んで、自分だけの非常持出袋を作ろう。  
使ったカードはプレゼント!!



こんなカードを使いました。

③ カパンと缶づめパンをみんなで食べて感想を言おう



おいしい!!  
非常食の感想は? ←  
おいしい!!

※ 9月23日に台風が来たため、急遽、台風について学び、9月30日につなげた。そのため、ポスターでは1日目が台風について学んだ内容になっているが活動案等には含まれていない。

1日目:10月4日(日) 15:00~17:00 (120分)			
ふりかえり 10分	復習しよう 前回 ふりかえり	1.前回の授業で学んだことをJPと話す。	○宿題シート
自己評価 10分	日本語でできるかな? 活動前 自己評価	1.現在の自分のレベルを把握するため、Can-do statementsを活用したチェックリストを用い、5段階で現状の日本語能力を自己評価する。	○ワークシート
活動1 80分	避難するときのイメージをつかもう 地震が起きたらどうなるかイメージをつかみ、基礎知識の確認	1.避難訓練について話す。 2.地震が起こるとどうなるかビデオを見る。 3.防災ガイドブックを見て、避難所までの逃げ方を話す。 4.避難場所までの地図を作る。 5.自宅と外出先の避難の仕方の違いを話す。 6.災害時に外国人が困ることと対策を話す。 7.避難に必要なものを付箋に書き発表する。 8.外国人の立場でできることをふりかえる。	○ワークシート ○仙台国際交流協会 DVD「多言語防災ビデオ 地震! その時どうする?」 ○岡崎市防災ガイドブック
自己評価 10分	日本語でできるかな? 活動後 自己評価	1 授業を受けて活動前とどれくらい評価が上がったか確認する。	○ワークシート
10分	学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題	1.授業で学んだことばを3つあげ、宿題シートに書いて家で勉強する。	○宿題シート
2日目:10月11日(日) 15:00~17:00 (120分)			
ふりかえり 10分	復習しよう 前回ふりかえり	1.前回の授業で学んだことをJPと話す。	○宿題シート
自己評価 10分	日本語でできるかな? 活動前 自己評価	1.現在の自分のレベルを把握するため、Can-do statementsを活用したチェックリストを用い、5段階で現状の日本語能力を自己評価する。	○ワークシート
活動2 80分	避難所体験をしよう 避難所生活を疑似体験する	1.ビデオで避難所の場面を見る。 2.市職員に避難所の話を聞く。 3.簡易トイレ・非常用テントを組み立てる。 4.避難者名簿を書いてみる。 5.外国人が支援者になるために必要な体制等の要望、講義の感想等を発表する。 6.災害が発生した時のために備えることを聞く。 ふりかえり 1.普段の生活で意識できること、避難所で支援者としてできること、助けてほしいことを話す。	○ワークシート ○避難所のビデオ ○プロジェクター ○パワーポイント資料 ○非常用テント ○簡易トイレ ○毛布○A3用紙 ○避難者名簿 (多言語版)

自己評価 10分	日本語でできるかな? 活動後 自己評価	1 授業を受けて活動前とどれくらい 評価が上がったか確認する。	○ワークシート
ふりかえり 10分	学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題	1.授業で学んだことばを3つあげ、宿題 シートに書いて家で勉強する。	○宿題シート
<b>3日目:10月18日(日) 15:00~17:00 (120分)</b>			
ふりかえり 10分	復習しよう	1.前回の授業で学んだことをJPと話す	○宿題シート
活動3 100分	学習したことをふりかえろう ふりかえりと 提言	1.「地震発生から避難所まで」と「避難所」 別に学習したことを話す。 2.災害に関する言葉を簡単にする。 3.災害時に外国人が役に立てる事を紙に 書く。 4.グループ別に前に立って発表する。 「日本語でできるかな?」のふりかえり 1.1・2回目に行った「日本語でできますか」 をもう一度チェックする。 2.できるようになった項目、あまり変わらな かった項目を挙げ、その理由を書く。	○前々回、前回の ワークシート ○A3用紙 ○ペン
ふりかえり 10分	学んだことを家で練習してみよう 次回の宿題	1.授業で学んだことばを3つあげ、宿題 シートに書いて家で勉強する。	○宿題シート
<b>4日目(コース全体のふりかえり) 10月25日(日) 15:00~17:00 (120分)</b>			
ふりかえり 10分	復習しよう 前回のふりかえり	1.活動の流れを説明する。 2.前回の授業で学んだことをJPと話す。	○黒板 ○宿題シート
活動4 95分	できることの洗い出し と目標をつくろう ふりかえりと提言	1,全6回分の防災のCan-do statementsを みて、 ワークシートに記載された項目以外でで るようになったこと、できるようになると いいと思うことを話す。 2.1で話したことから新たに Can-do statements を作って紙に書き、「書く」 「読む」「聞く」「話す」「やりとり」の技能別 に壁に貼り出す。 3.ワークシートに書きだし、5段階自己評価 を付けたら、今後の目標を作る。 もっと役に立つために必要な制度は? 4.市や町内会への要望を紙に書いて発表 する。	○前々回、前回の ワークシート ○A3用紙 ○ペン
10分	成果共有	出席日数に応じて学習者に表彰状を渡 す。	○表彰状

## 支援に役立つ日本語教室

# 災害時に外国人が支援者になるための日本語教室活動



国際交流NGO  
Viva おかざき！！

## テーマ決めの背景とねらい

- 災害時通訳ボランティア養成講座に参加した外国人参加者  
「支援する側になりたい！」  
「災害の勉強がしたい！」
- 災害時に外国人も支援者になれるというイメージづくり



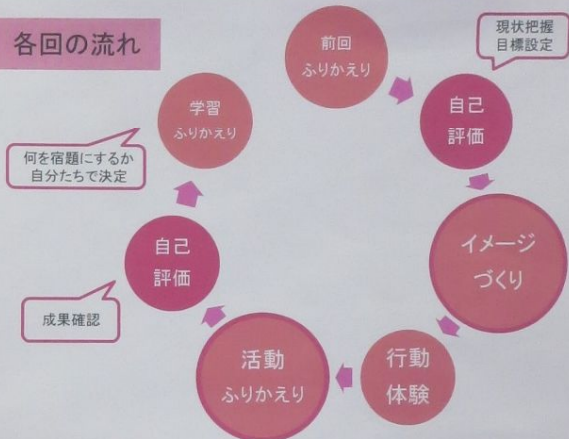
## 活動構成

第1回  
防災の  
イメージづくりと  
基礎知識を学ぶ

第2回  
避難所生活を  
疑似体験する

第3回  
ふりかえりと  
提言

## 各回の流れ



## 第1回 防災のイメージづくりと基礎知識を学ぶ



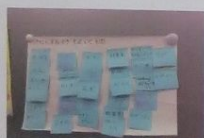
震災のビデオを見ました！地震が起きたらどうする??



岡崎市の防災が이드ブックで学びました!



「自宅より外出先では避難方法が違うんだ！」



避難に必要なものをまとめてみました!

## 第2回 避難生活を疑似体験する



防災危機管理課職員に避難所はどこなのか話を聞きました！日本の避難所は無料なんだ！びっくり!!



仮設テント・簡易トイレを体験しました！床が硬くて寝にくいな...



避難所に行かなくても済むようにするには？普段からの備えが大切!



避難所名簿を書きました！世界って何??



外国人が支援者になるための必要な知識は?やさしい日本語「書類」にふりがなが欲しい!

## 第3回 ふりかえりと提言



1日目・2日目でもんだいごとを日本語パートナーで復習します。内容復習がこんなに思い出ない...



災害に関する単語は難しい表現が少なくていい!やさしい日本語に書くワークをしました!



外国人が支援できることを書きます。みんなの前で発表しました!



こちらは取説通訳さん。さすが日本語をイメージさせてくれます!



準備しましたが、みんなの発表を聞き、自分にもできることがあることがわかりました!

## 成果と課題

- 学習者の声「とてもためになる授業」  
→ 講師・日本語パートナーがとても親切に教えてくれ、多くの日本語表現を学び、話すことのできる授業。継続希望。
- 実際の声から活動を設定→ 受講者の7割が出席率8割超
- 次につなげる活動の必要性  
「外国人もボランティアをする機会が欲しい！」  
→ 日本人も参加する災害ボランティアコーディネーター研修に参加できないか打診中
- 外国人の声を市役所に伝える必要性  
→ 書類のふりがな、絵や写真を多用した説明、専門的知識の「やさしい日本語」化
- 学習者の災害に関する事前知識の把握



2015年度文化庁委託  
「生活者としての外国人」のための日本語教育事業  
「使える」日本語を学ぶ！

## 活動事例集2015

2016年3月

発行：公益財団法人 愛知県国際交流協会

〒460-0001

名古屋市中区三の丸2-6-1

TEL:052-961-8746 FAX:052-961-8045

Eメール:koryu@aia.pref.aichi.jp

URL:<http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷：駒田印刷株式会社